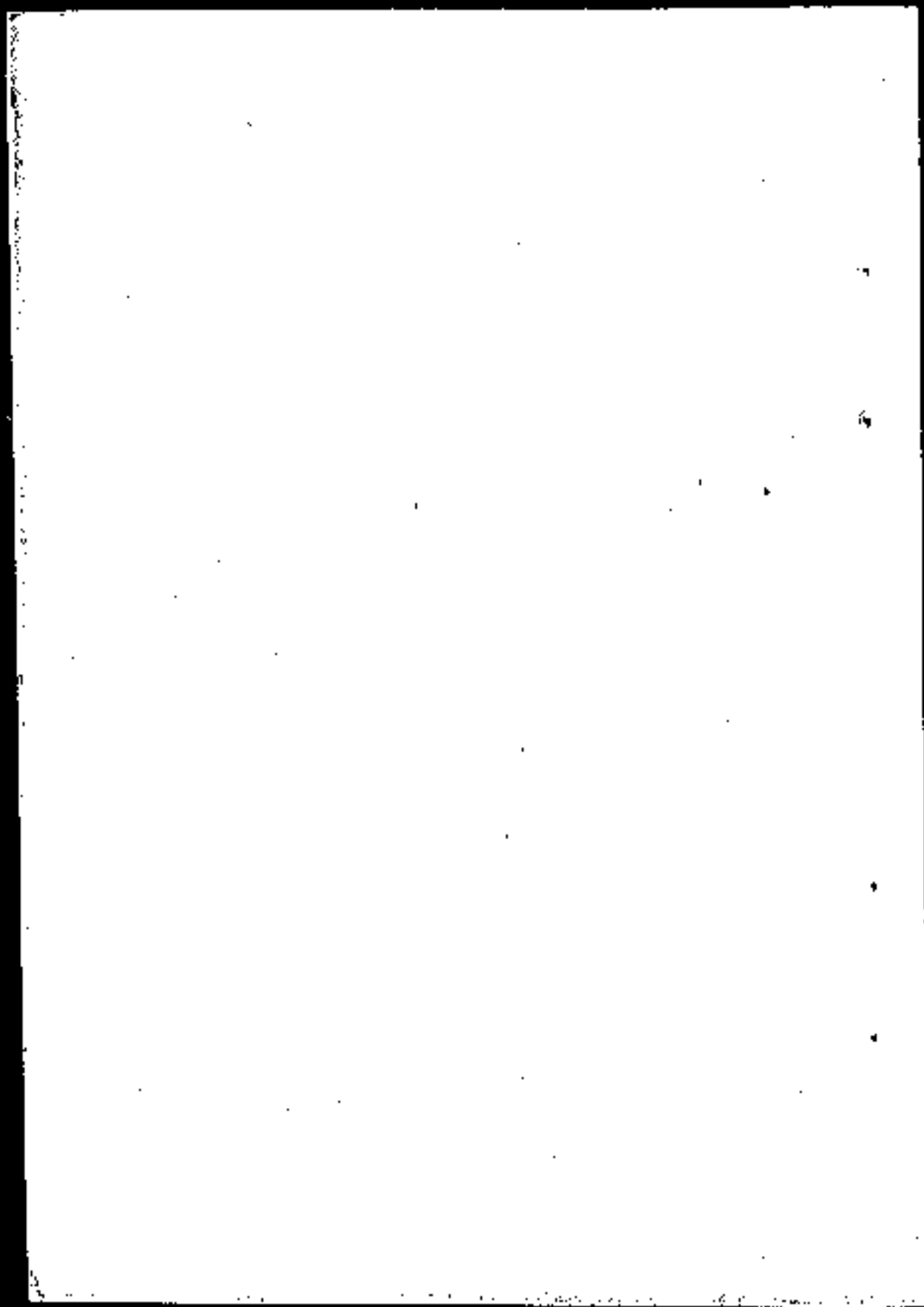


101 2 3 4 5 6 7 8 9 1

国立公文書館	
分類	⑧ ⑨
配架番号	3 A
	14
	67-15



龍 林 機 書	類 番 號	1 / 8,1
------------------	-------------	---------------

雷
林
機

監督官

取
扱
手
明
細
抄
本

平成20年5月

平成20年5月25日

国立公文書館

分類	
配架番号	67-15

昭和17年7月

三菱重工業株式会社
名古屋航空機製作所

監督官	所内
本機	
監督官	
機長	
主任	

ENGINEERING
YOUNG & RUBINSON
1880

目次

註記頁・付・ル・M2
取組説明書(第215頁)
1頁

ABM31M21比較表	1頁	
機体強度試験成績表	3	1.3.8頁
1. 概説	4	2. 4頁
1.1. 一般要目	4	1-3
1.3. 全機図	7	5
1.3.1. 全体正面図	7	5
1.3.2. 全体側面図	8	6
1.3.3. 全体平面図	7	7
2. 重量及重心表	10	8
2.1. ABM31M21重量上	10	
3. 先9%相違表		
2.1.1. 自重量	10	
2.1.2. 搭載量	10	
2.1.3. 相當翼弦	12	
2.2. 重量表	13	9-14
3.1.4. 降着装置 中		
前脚電灯装置	14	36
尾脚電灯装置	14	36, 37
前脚止鉤外装装置	15	38, 39
車輪懸吊止鉤	12	40
3.1.5. 発動機架	17	45, 96
3.1.6. 動力装置	20	47
3.1.7.A. 燃料系統	20	47-100, 102
3.1.7.B. 潤滑油系統	20	103, 106, 108
3.1.7.D. 起動装置	20	110

裏面白紙

RESTRICTED

WDC No. 132247

Team AIR

Index No.

Extracts from a Handling Manual on the A6M3 (Zeke), by the MITSUBISHI Heavy Industries Co., Ltd. and the NAGOYA Aircraft Manufacturing Plant. Military Secret, Jul. 1942. Blueprint Diagrams. 50 pp.

RESTRICTED

裏面白紙

RESTRICTED

WDC No. 132949 Team AIR Index No. _____

Extracts from a Handling Manual on the AGM3 (Zaka), by the MITSUBISHI Heavy Industries Co., Ltd. and the NAGOTA Aircraft Manufacturing Plant, Military Secret, Jul. 1942, Blueprint Diagrams, 50 pp.

JICPOA #15,080 RS 35708 AS 3165

Explanatory material for AGM3 (SAKAE ZI).
To Wash

Vandersall

RESTRICTED

3.1.9.E	発電機管制装置	27	111頁
3.1.9.F	恒速プロペラ管制装置	27	111~112
3.1.9.G	油圧高温調整装置	32	113~115
3.1.9.H	排気管	34	116~118
3.1.9.I	発電機環状配	36	120, 121
3.1.9.J	発電機架設	38	123, 124
3.1.9.K	気化器吸入管	40	125, 126
3.1.9.L	真空ホース系統	41	127
3.1.9.N	発電機補器令付装置	42	131
4. 発電機		43	139
4.1. 発電機一般要目表		43	139~141

A6M3とA6M2の比較		
A6M2の改造と主要部分		
部 分	改 造 要 領	記 事
胴 体	1. 防火壁を155度傾倒ス。	発動機部重量増加とス。
	2. 遮風板前方上部胴体 部個変更	発動機換装に伴い、機 系を7720222
	3. 発動機架取付金具及び 二倍の大型通付変更	発動機部重量増加に伴 て強度を増ス。
主 翼	1. 翼端の約500mm縮み折疊装 置を設ス。	工作簡便化。
	2. 20mm機銃連発機銃部を 110mm機銃連発機銃部へ 交換ス。	弾倉容量を増ス。
	3. 翼内タンク燃料計の骨格を翼内 タンク高を高くス。	燃料タンク容量を 増大。
	4. 主翼の燃料油路を 変更ス。	燃料油路の容量を増 大。
主 脚	1. 主脚の軸受をA6M2の主脚機 型へ交換ス。	作業の簡便化。
	2. 胴体側車輪骨格と主脚機 を交換ス。	作業の簡便化。
兵装機装	1. 20mm機銃連発機銃部を110mm 機銃連発機銃部へ交換ス。	
	2. 機銃連発機銃部を新設	12mm機銃
計器関係	1. 排気温度計新設	12mm機銃
	2. 混合比計を設ス	
	3. 吸気温度計を設ス	
発動機関係	1. 発動機架を一型へ変更	
	2. 発動機換装に伴い、防火壁 前方上部の形状を変更	
	3. 翼内タンク重量を増大	約270kg
	4. 胴体内タンクを増大	約60kg

発動機関係	5. 潤滑油ポンプ増大10%	2454土
	6. 油冷却器増大2%	1820トル
	7. 発動機架	発動機直装、以簡便可能
	8. 発動機制御装置	→ 遠隔的若追加
	9. 発動燃料ポンプ買付燃料増大設備	
プロペラ	1. ロンヤシク設備	
備考 発動機=同20性能表 取扱は、発動機製作所発行取扱説明書=ヨル		

強度

機体強度試験成績表(機体重量 2570kg = 対称数値 5.3)

機体部分	荷重状態	要求荷重		荷重試験結果の 算出セル 破壊強度率	備 考
		保安荷重	作業安全率		
主翼	A 1 場合	7.0g	1.8	1.0	ALH2 機体強度試験成績表 L16M2 計算 右側 強度計算書 機体重量 2056g
	B 1 場合	6.25g	1.8	1.0	
	L-1 1 場合	重心負荷係数 3.25g	1.8		
	L-4 1 場合	2.6g	1.8		
水平尾翼	風圧中心後方位(翼弦分布(1)) 場合	313.9 $\frac{kg}{m^2}$	2.07	1.11	
	風圧中心前方位(翼弦分布(1)) 場合	156.9 $\frac{kg}{m^2}$	2.07	1.21 以上	
垂直尾翼	風圧中心後方位(翼弦分布(1)) 場合	198.5 $\frac{kg}{m^2}$	2.07	1.21	
	風圧中心前方位(翼弦分布(1)) 場合	59.5 $\frac{kg}{m^2}$	2.07	1.21 以上	
補助翼	7 5 ヲ 7°	352 $\frac{kg}{m^2}$	2.07	1.21 以上	
胴 体	胴体前部下段 A 1 場合	2.0g	1.8	1.0	三菱実験研究報告 第 1046 号
	胴体後部下段 G-20 1 場合	313.9 $\frac{kg}{m^2}$	1.8	1.11	
	L-1 1 場合	重心負荷係数 3.25g	1.8	1.0 以上	
	抱提鉤荷重 L-6 1 場合	5020kg	2.34	1.0 以上	
	轉覆荷重 L-10 1 場合	5020kg			
	L-1 1 場合	重心負荷係数 3.25g	1.44	1.0 以上	三菱実験研究報告 第 2025 号 L16M2 機体試験
降着装置	主脚 L-4 1 場合	2.6g	1.44	1.1 以上	
	尾脚 L-1 1 場合	3.25g	1.44	1.0 以上	全二
	尾脚 L-4 1 場合	2.6g	1.44	1.1 以上	全二
発動機架	A 1 場合	7.0g	1.8	1.0	
抱提鉤	L-6 1 場合	5020kg	2.34		
坐席装置	垂直下向荷重	560kg	1.8	1.13	
	水平後向荷重	150kg	1.8	1.33 以上	
	前向荷重	200kg	1.8	1.33 以上	
轉覆時保護杆	L-70 1 場合	5020kg			

AGM3

裏面白紙

1 概説				
加 一般要目				
機 体 本 子			第4号機中機	備考
型 式			他型機と同様	
定 義			教	
主 要 寸 法 (mm)	全 幅	基 用 所	11,000	
		打 撃 時		
	全 長	水 平	9,740	
		三 角 形	8,345	
全 高	水 平	3,507		
	三 角 形	3,570	11,000 (27/100)	
重 量 (kg)	主 機 全 備 (C)		2,536	主機・副機・中機・小機・大機・超大型機
	目 録 (同色黄南の合山)		1,807.68	主機7台・2台
	機 体 重 量		728.92	
	計 算 過 荷 重 状 態		2,884.24	
負 重	翼 面 荷 重 (kg/m ²)		112.7	
	翼 力 荷 重 (kg/lb)		2,249	本機一連 2,350 (27/100) 大 機 一 連 4,000 (27/100)
機 動 機	名 称		深 二 一 型	
	車 力	公 用 機	1	
		第一連 (地上)	1,010	
		第二連 (高度2000)	1,100	
機 動 機	車 力	第三連 (高度6000)	980	
		離 昇	1,130	
		公 用 機	2,700	
	機 動 機	離 昇	2,750	
機 動 機		公 用 機	2,750	
機 動 機	機 動 機		公 用 機	2,750
	機 動 機		公 用 機	2,750

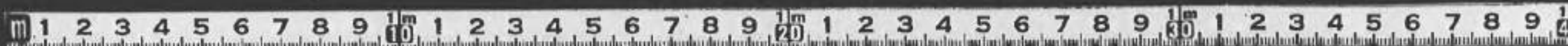
AGM3

機 体 番 号		新機体号	備考
機 体	公称高度 (m)	5850	1. 第一号
	減速比	6000:1	2. 第二号
	使用燃料 種類	重油	3. 第三号
コックピット	名称 型式	11.5A1111	
	直 径 (m)	30. 3.050	
	重 量 (kg)	14523	Y
燃 料 容 量	固有槽容量 (l)	5000	
	落下式増設槽 (l)	320	
	總 容 量 (l)	54	
主 翼	翼 幅 (m)	11.800	
	翼 弦 (最大) (m)	2.500	胴体側面から
	面積 (胴体内含) (m ²)	21.538	
	取 付 角 (度)	11.5	
	上 反 角 (度)	3.71	
フラスコ	幅 (m)	1.595	
	弦 長 (m)	2.160	
	面 積 (m ²)	3.428	
	運 動 角 (度)	50	
補 助 翼	幅 (実長) (m)	2.900	
	弦 長 (m)	1.595	
	面 積 (m ²)	4.628	
	年 衡 比 (%)	2	
	運 動 角 (度)	30	
尾 翼 部	幅 (m)	4.700	
	弦 長 (m)	1.493	
	面 積 (m ²)	7.01	
水平安定板		取 付 角 (度)	0.10

A6M3

機 体 各 号			第4機体番号		備 考
尾 部	昇降舵	幅 (m)	4.640		
		弦 長 (m)	4.1705	修正弦長4.15m	
		面積(修正弦長)(m ²)	4.72542	4.7	
		平 衡 比 (%)			
		運 動 角 (度)	± 2.7 ± 2.5		
	垂直安定板	幅 (m)			
		全高(明基基準)(m)	1.12		
		面 積 (m ²)	3.124	No. 4A	
		取 付 角 (度)	0		
	方向舵	全高(明基基準)(m)	1.720		
		面 積 (m ²)	4.493	No. 2A	
		弦 長 (m)	5.0661		
平 衡 比 (%)					
胴 体	運 動 角 (度)	3.3			
	長 (m)	7.035			
	幅 (m)				
降着装置	車 輪	高 (m)			
		直 径 (m)	0.600		
		幅 (m)	0.175		
		タイヤ内圧力(kgf)	3.5		
	尾 輪	間 隔 (m)	3.500		
		直 径 (m)	0.150		
		幅 (m)	0.075		
		タイヤ内圧力 (kgf)	2.000		
三 角 靜 止 角 (度)		12.5			

裏面白紙



A6M3

1.3 全股回

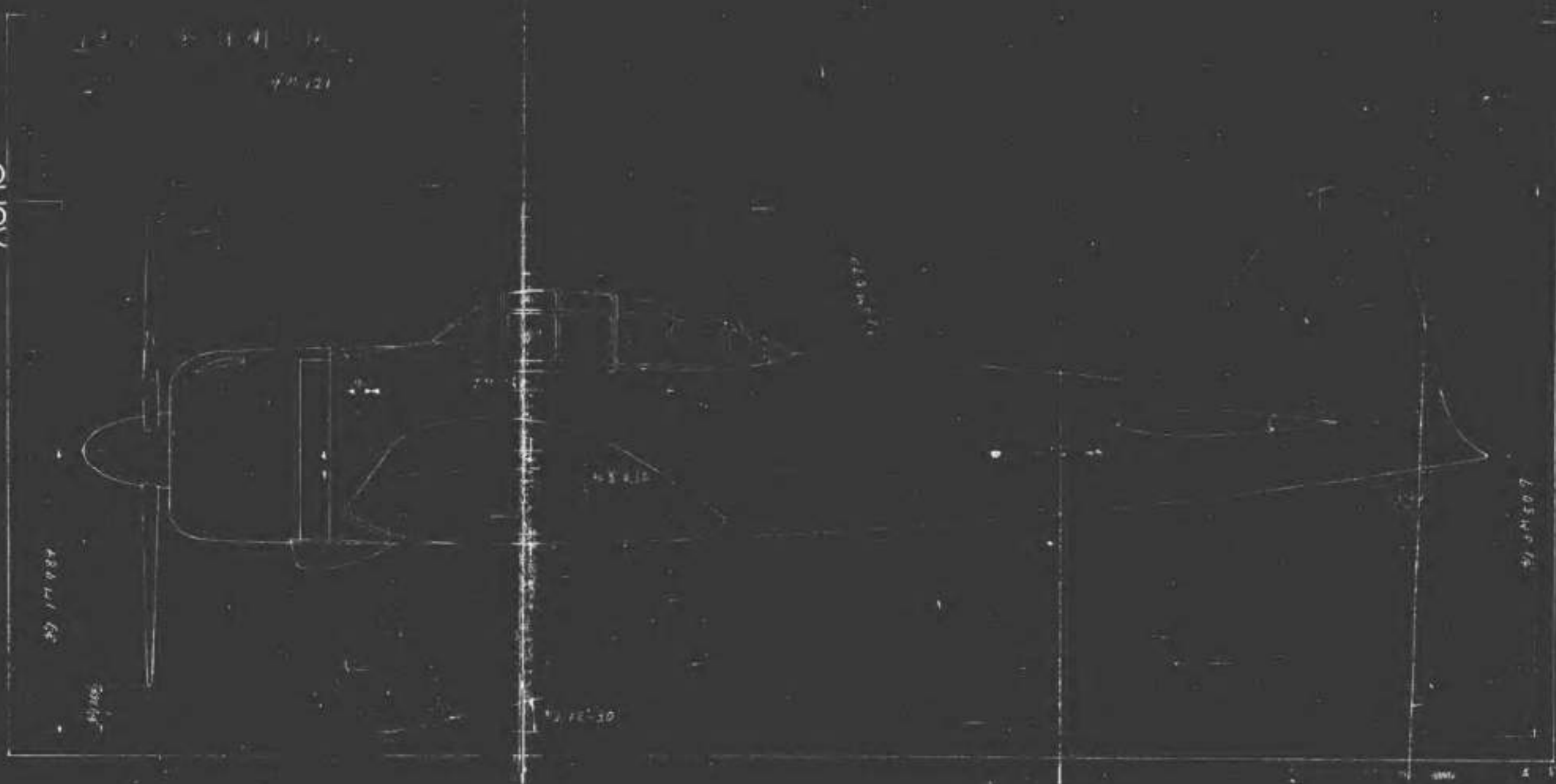
1.3.1 全体主面回

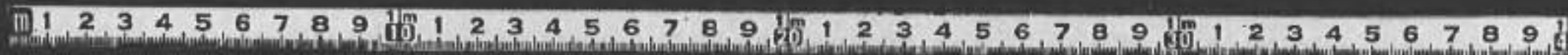
1 : 3 2



A6M3

裏面白紙





133 全体平面図

A6M3

裏面白紙

A6M3

裏面白紙

1 : 2 5

下記に四ノ規を記す

- ① 正規状態 A ---- 正規状態 C (3. 正規状態内燃料 60立、潤滑油 4立、7立燃料消費方位測電機) + 燃料セル状態 + 1
- ② 正規状態 B ---- 正規状態 C (3. 正規状態内燃料消費方位測電機) + 燃料セル状態 + 1
- ③ 正規状態 C ---- A6M2、正規状態 = 正規状態内燃料 60立、燃料消費 410立、潤滑油 31立、燃料消費電機
- ④ 正規、全消費状態 ---- 正規状態 A (1. 燃料消費、潤滑油、燃料消費電機 (20立、燃料消費電機、燃料消費電機) + 全消費電機 + 1
- ⑤ 正規、全消費状態 ---- 正規状態 A (1. 燃料消費、潤滑油、燃料消費電機 (20立、燃料消費電機、燃料消費電機) + 全消費電機 + 1
- ⑥ 正規、全消費状態 (燃料消費電機、燃料消費電機 C (3. 正規状態内燃料消費電機、燃料消費電機 20立、燃料消費電機)
- ⑦ 正規、全消費状態 (燃料消費電機、燃料消費電機 C (3. 正規状態内燃料消費電機、燃料消費電機 20立、燃料消費電機)
- ⑧ 正規、全消費状態 (燃料消費電機、燃料消費電機 C (3. 正規状態内燃料消費電機、燃料消費電機 20立、燃料消費電機)



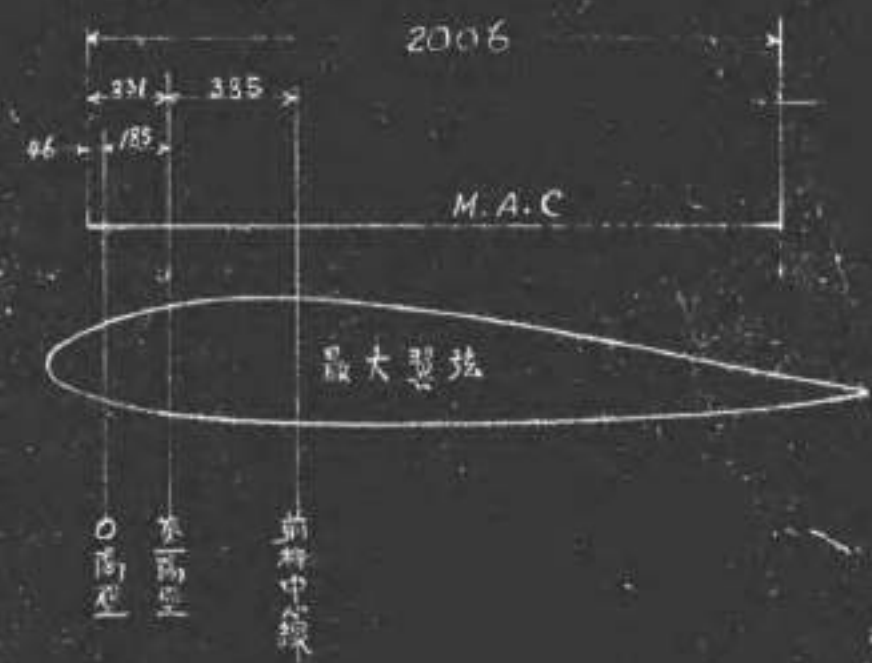
A6M3

裏面白紙

被段は同前品より加へた状態なり。

2. 1. 3 相当翼弦

空板板の1/2指示より A6M2 = 今迄使用
シ来リ相当翼弦 = 左シ下記ノ如ク使用
スルコトナリ。



註:- O 断面は A6M2 の防大壁ニシテ
A6M3 は 假想ノ断面ナリ。

2.2 A6M3 第一号機乃至第三号機重量表

項 目	自重	各 状 態 重 量 (kg)							
		正規状態 C (直機)	正規状態 A	正規状態 B	正規全機 状態	正規状態 状態	第一通機 状態 (修整)	第二通機 状態 (修整)	第三通機 状態
包 箱 重 量	1807.03	1807.03	1807.03	1807.03	1807.03	1807.03	1807.03	1807.03	1807.03
機 體 重 量	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
機 體 内 部 重 量	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38
機 體 下 部 重 量	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43
潤 滑 油 重 量	56.00	56.00	56.00	56.00	56.00	56.00	56.00	56.00	56.00
20 瓦 回 走 機 重 量	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
同上 彈 簧 包 (彈 簧 共)	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
同上 彈 簧 射 擊 重 量	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48
7.7 瓦 回 走 機 重 量	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
同上 彈 簧 包	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
彈 簧 包 重 量	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
C.P.L. 彈 簧 重 量	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
彈 簧 包 重 量	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
彈 簧 包 重 量	64.00	64.00	64.00	64.00	64.00	64.00	64.00	64.00	64.00
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	2.36	2.36	2.36	2.36	2.36	2.36	2.36	2.36	2.36
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	1692.92	1692.92	1692.92	1692.92	1692.92	1692.92	1692.92	1692.92	1692.92
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	2500.00	2500.00	2500.00	2500.00	2500.00	2500.00	2500.00	2500.00	2500.00
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	26.3	26.3	26.3	26.3	26.3	26.3	26.3	26.3	26.3
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量	27.3	27.3	27.3	27.3	27.3	27.3	27.3	27.3	27.3

使用燃料 煤油
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量
比重 0.723

使用潤滑油 エーガン 120 油
九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量
比重 0.89

九五瓦 回 走 機 射 擊 重 量
比重 = 0.89



2.2 A6M3 第四号機以降重量表

項 目	自重	各 状 態 重 量 (kg)							
		正規状態 C (基準)	正規状態 A	正規状態 B	正規全消費 状態	正規軽荷 状態	第一過荷重 状態(偵察)	第二過荷重 状態(爆撃)	第三過荷重 状態
自 重	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08
塔 架	1名	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
胴 体	60立	43.38	43.38	43.38		43.38	43.38	43.38	43.38
内 部	410立	296.43	296.43	296.43		296.43	296.43	296.43	296.43
下 増	320立					320.36	320.36	320.36	320.36
潤 滑 油	54立	32.04	32.04	32.04		32.04	32.04	32.04	32.04
20 型 固 定 機 銃	2門	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
同上 彈 藥 包 (彈 倉 共)	150箱×2	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
同上 機 銃 射 擊 装 置		12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48
7.7 型 固 定 機 銃	2門	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
同上 彈 藥 包	700箱×2	47.60	47.60	47.60		47.60	47.60	47.60	47.60
九五 型 同 調 機 銃 射 擊 装 置		2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
機 銃 指 示 器	2台	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
O. R. L. 照 準 器	1台	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
30 型 機 銃	2台						64.00	64.00	64.00
機 銃 投 下 器 (支 基 覆 共)							9.50	9.50	9.50
九六 型 一 号 照 準 機 (制 御 室 内)	1式	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40
7 式 照 準 機 投 下 器 測 定 機	1式	25.74				25.74	25.74	25.74	25.74
機 銃 吸 入 装 置 (附 属 品 計 共)	3.52 立	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40
五二 式 二 型 改 一 号 下 个	1	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20
機 銃 下 増	1					25.00		25.00	25.00
電 熱 被 服 及 同 附 属 品	1						2.36	2.36	2.36
塔 架 載 重		228.92	656.24	703.18	245.93	408.14	1001.30	854.98	1072.76
機 銃 載 重		2536.00	2463.62	2510.26	2052.91	2115.27	2858.28	2611.86	2587.24
第一 隔 壁 以 後 方 へ	1 吨	125	290	283	213	248	311	277	318
機 銃 基 準 線 下 方	1 吨	10	12						
相 当 量 強 度 付 シ	%	17.7	26.0	25.5	26.1	22.1	23.8	27.2	26.3
使用 燃料	使用 潤 滑 油								
航空 九二 彈 藥 油	エー プレン 720 油								
比重 0.723	比重 0.89								

相当量換置機同

単位 kg

最大量

7.1 吨

1/3 组 2



前脚電圧装置

前部電圧装置

前部電圧装置

後脚電圧装置

後部電圧装置

機体中央部
線

機体中央部
線

機体中央部
線

機体中央部
線

ABM3

A部詳細図

B部詳細図

機体後部図

機体後部図

機体後部図

機体後部図

機体後部図

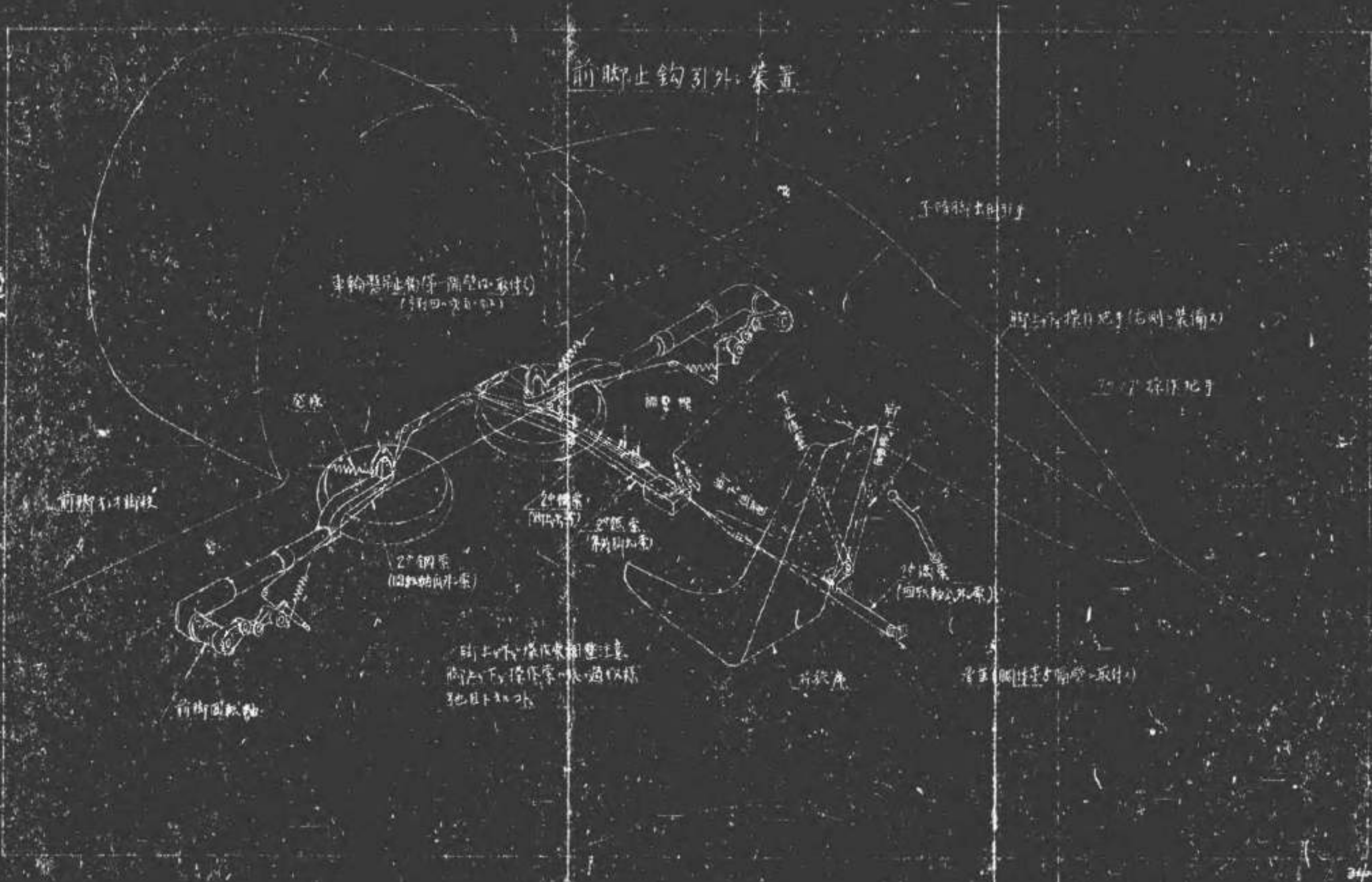
機体後部図

裏面白紙

32 14



AGM3



裏面白紙



車輪懸吊止鉤



ローラー式



裏面白紙
めくれず

A6M3

70-4, ポリブレン 鋼管 + 溶接シタル構造 = シチ
奈勃城取付部 = 11個ノ緩衝ゴムヲ有ス。
ゴムノ硬度ハ明治ゴムナンバー 45 ± 2 + 1。

※動機架支柱・端部・胴体防火壁 = 4個/取付
金具 = 取付ケラレ

発動極無、震着 = 隙ンテハ胴体側、取付金具
 = 注意ニテ孔ヲ合セテ嵌込ムヲ要ス 此際 = 取
 付金具ト孔ノ嵌合ヲ注意セザレバ取付金具ノ割
 山ニ損傷セシムル惧アリ

ねが山ノ損傷ニ付ル場合ニ付テ、要入セル
ナド付ノねが山ニ付テ該部ノ強度ヲ著シ
低下セシムル危險アリ。

次頁 = 發動機構造並に緩衝の取付部
詳細の図示ス

1 : 3 2

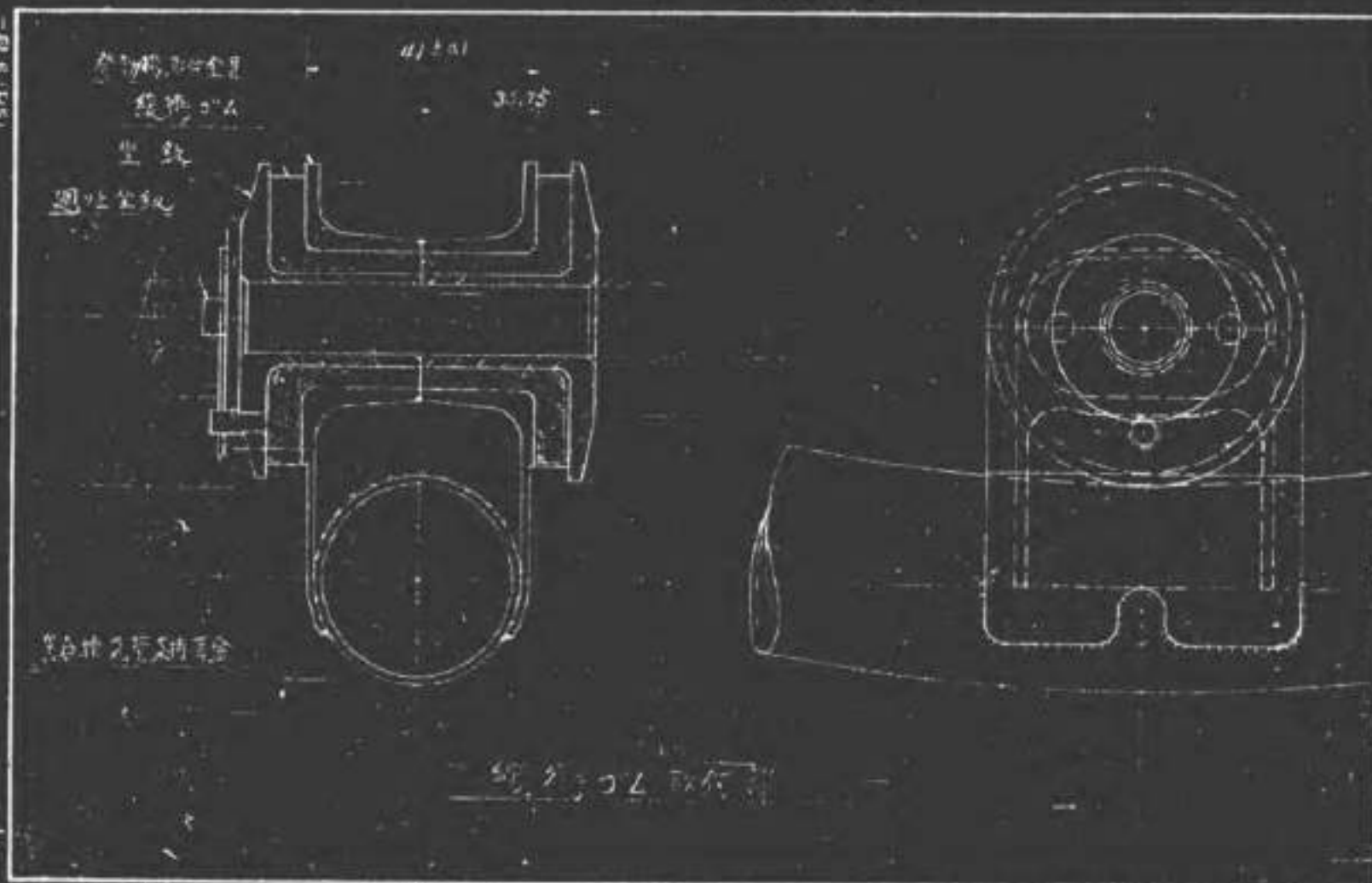


裏面白紙





裏面
白紙



1 : 25

3.4.9 動力装置

A. 燃料系統

(1) 本機、翼カ=左右各1個、タンク2胴體カ
=1個、タンク=更=落=増設タンク1個カ有ス
共=アルミ=ユーロ銀(4.2217)増設翼カ、
各タンク、取付位置、容量ハ次頁、タンク配置
図ヨ各タンク詳細、取付要領図ヨ参照ベシ

(2) コックハ胴體中上最下部後部直前ニ付シ
其操作把手ハ座席左側ニ付シ
左、右、上、下 胴、増止、ノミ用途ニ
切替ヘシ

(3) 燃料管制器ハ左側ノ着中央肋材ニ取付ケ
ラレ莫檢、燃圧調整等ハ胴體下面奥種元
ヨ行フ、手動ポンプ把手ハ座席左側ニ付シ

(ハ九号以降)

(4) 翼内燃料タンク=ハ各、1個、電動燃料
ポンプ=更ニ装置シ、燃料調圧ロー型
コック=0.20-0.30MPa程 燃圧ニセ、付

本電動燃料ポンプハ計器銀中央下部ニ
設ケラレタル2個ノ「スイッチ」ニヨリ制御セ
ラル、赤ボーンハ「ペーパー」カ光起シ燃圧
低下スル場合「ストップ」ヲ入レテ作動アルカ
立止メス

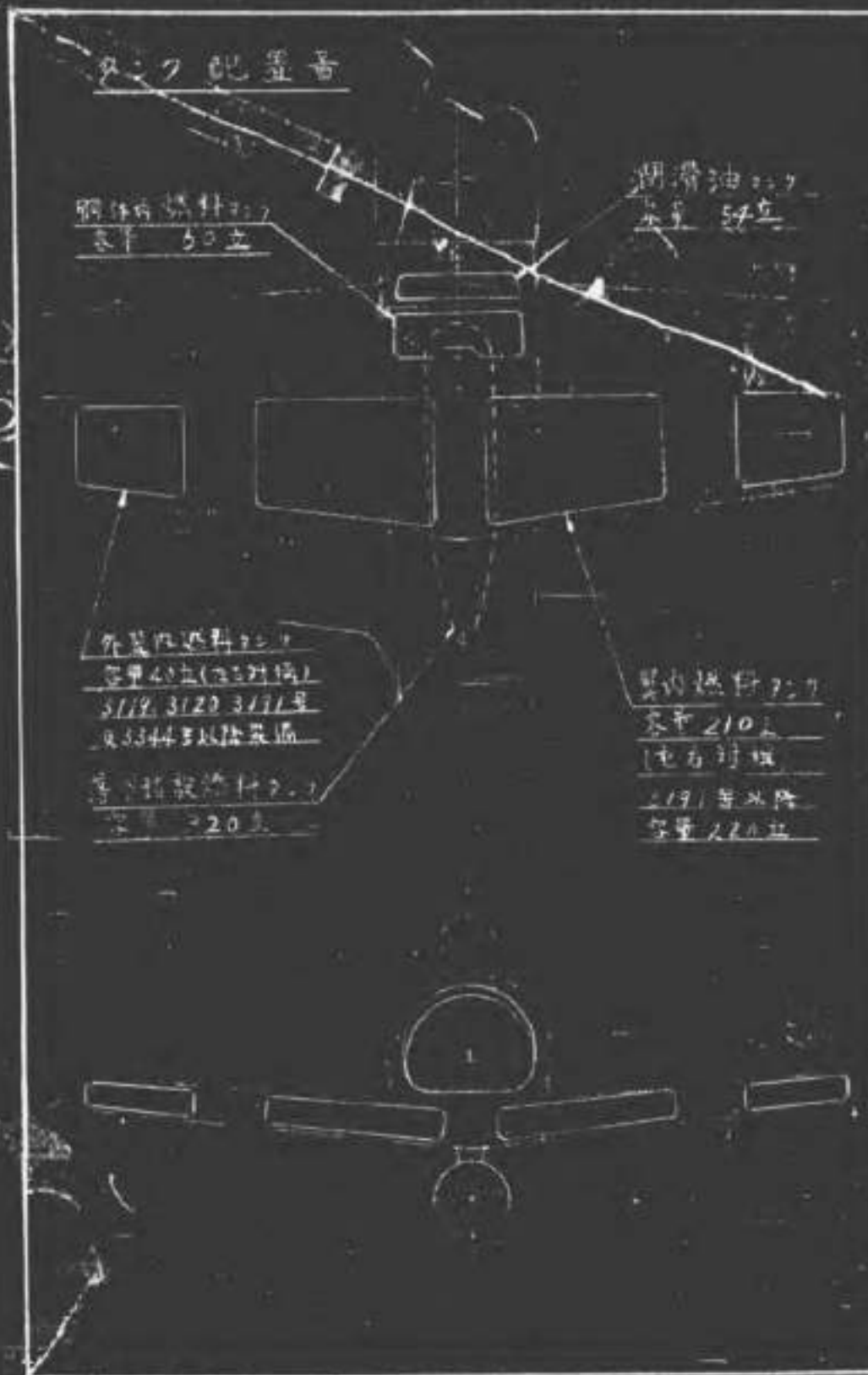
予知セル場合燃圧過高、傾倒アルモ、ハ
燃圧低カ0.20MPaマデ下セルカ可シス

電動燃料ポンプヲ装備此機体ハ之ガ
 使用ニ依リ「ベーパーロック」生起ヲ防止。特
 ルヲ以テ「特燃」使用ノ際
 両舷燃料タンク使用ノ場合ハ電動燃料
 ポンプモ左右同時ニ使用スルヲ立前トス。
 片舷燃料タンクニ使用ノ場合ハ全使用
 燃料タンク用電動燃料ポンプノみに使用
 コト。

第311号 第312号 第313号 第314号 第315号
 第316号 第317号 第318号 第319号 第320号



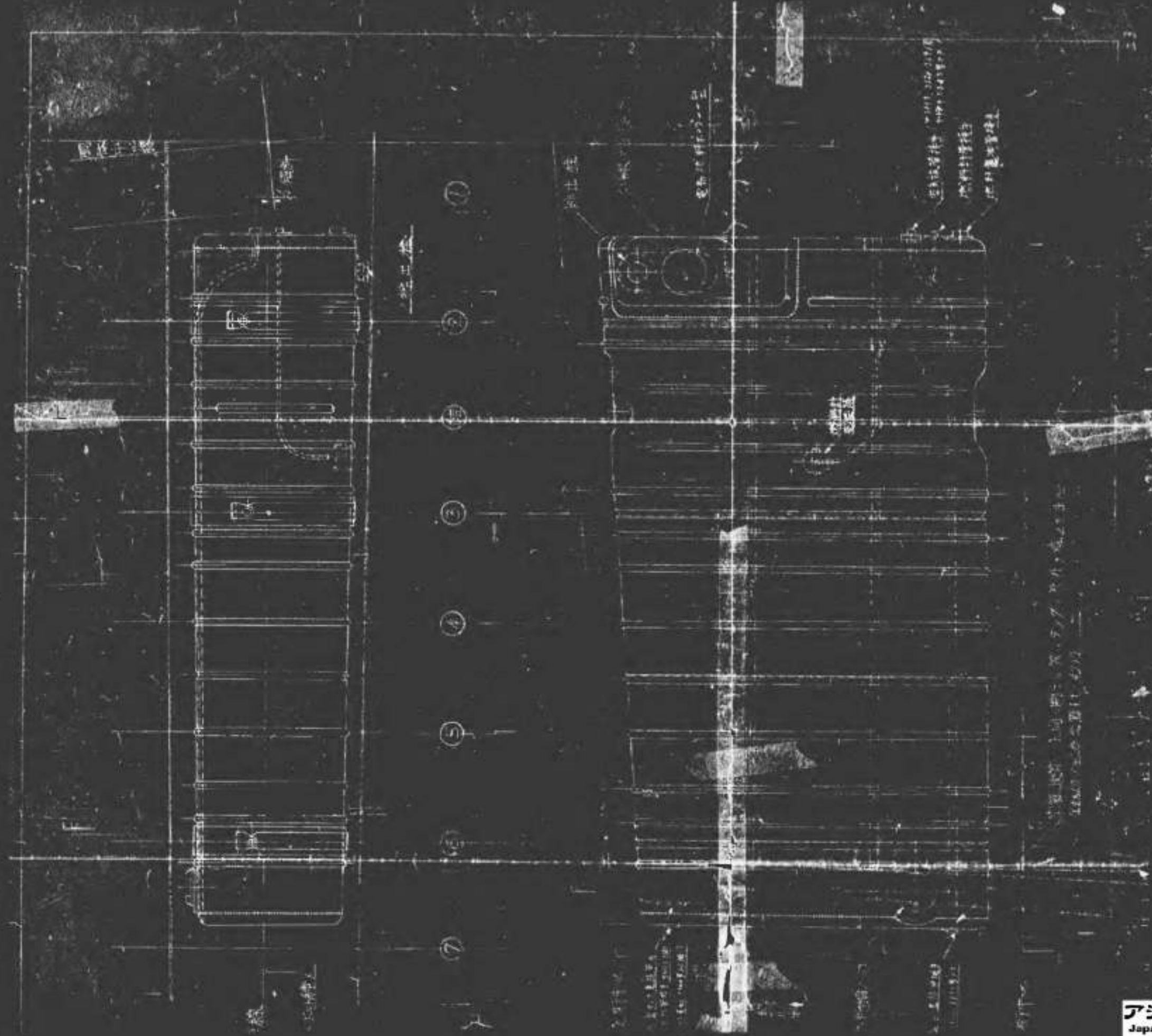
ASMB

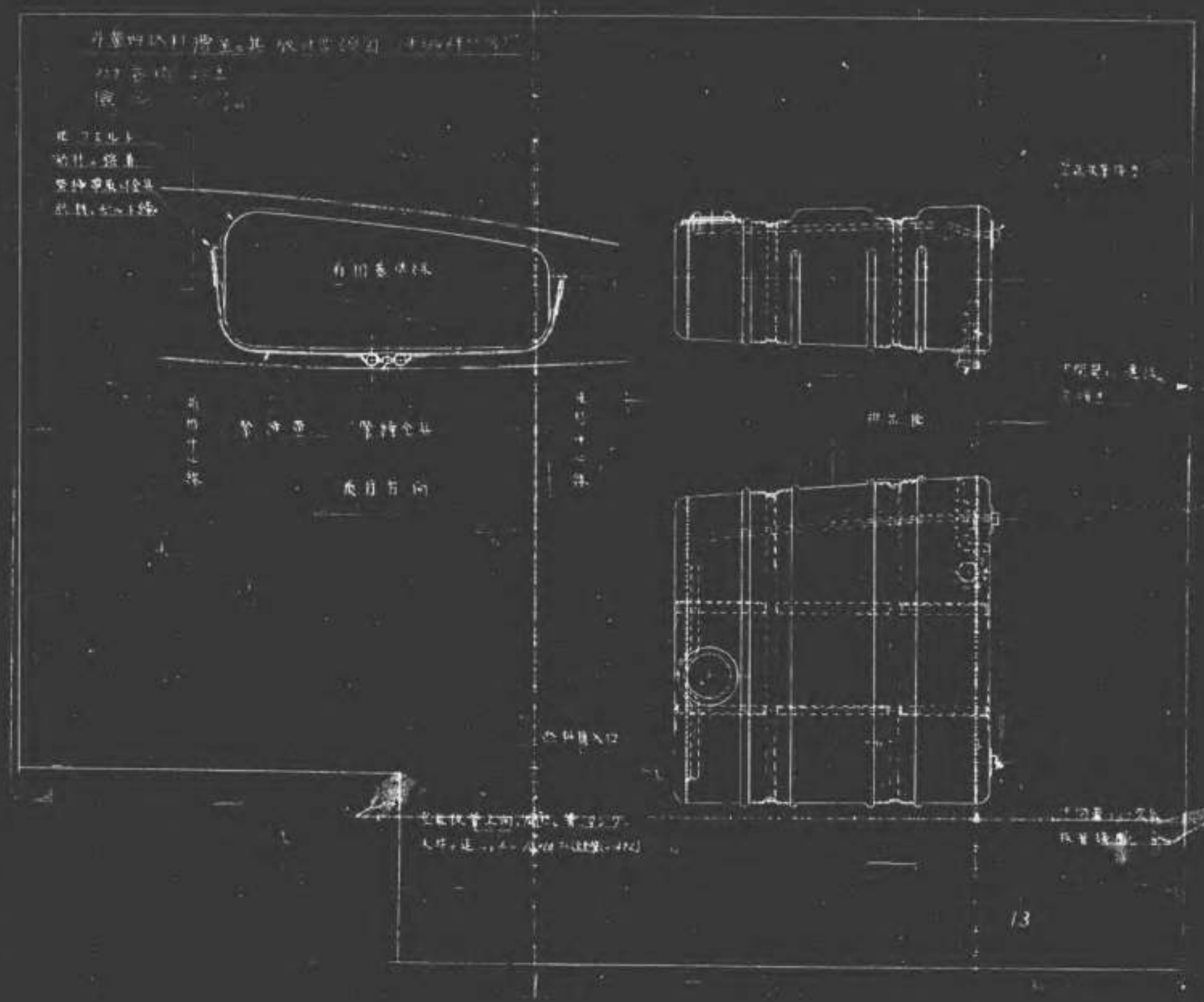


裏面白紙

42 0 115 15 3 300







裏面白紙



裏面白紙

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

裏面白紙

外翼内タンク、使用セザル場合、注意事項

外翼内タンク、使用セザル場合、

下記作業順序、依リ管、接続使用、行、ベシ

(1)タンク連通用可挽管、(A)部、於、外、タンク
側、盲蓋、施、セ、ベシ

盲蓋、(A)部附近、固縛格納、セ、リ

外、可挽管、附近、固縛、セ、リ、タ、ベシ

(2)空気抜管、(B)部、於、外、セ、ベシ

(3)空気抜連通管、(C)部、於、外、(B)部、接続

ス、ベシ。使用セザル管、抜き、金具、附近、固縛、

セ、リ、タ、ベシ

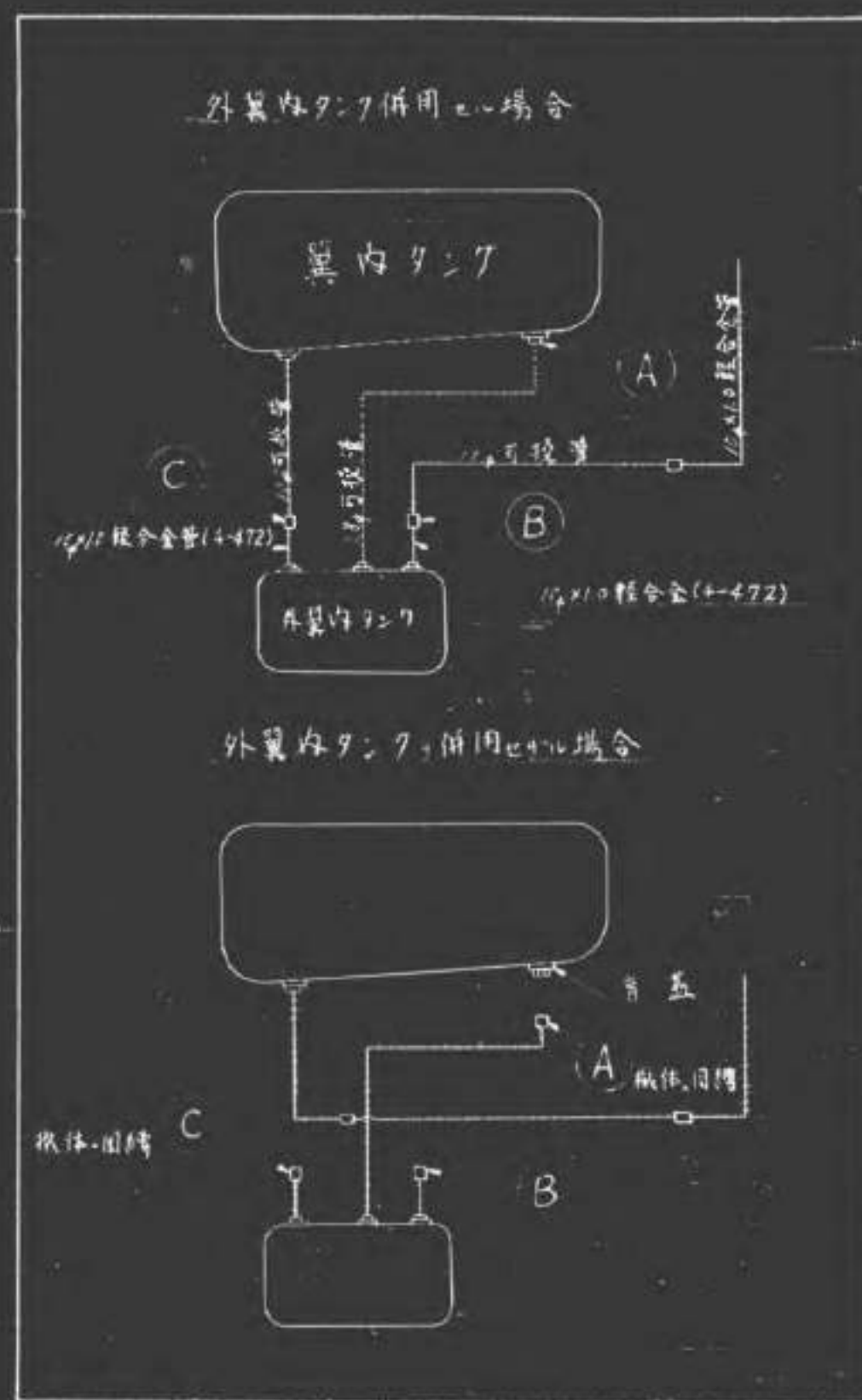
面次頁、参照、セ、ベシ

加藤中蔵 215

1 : 25



裏面白紙

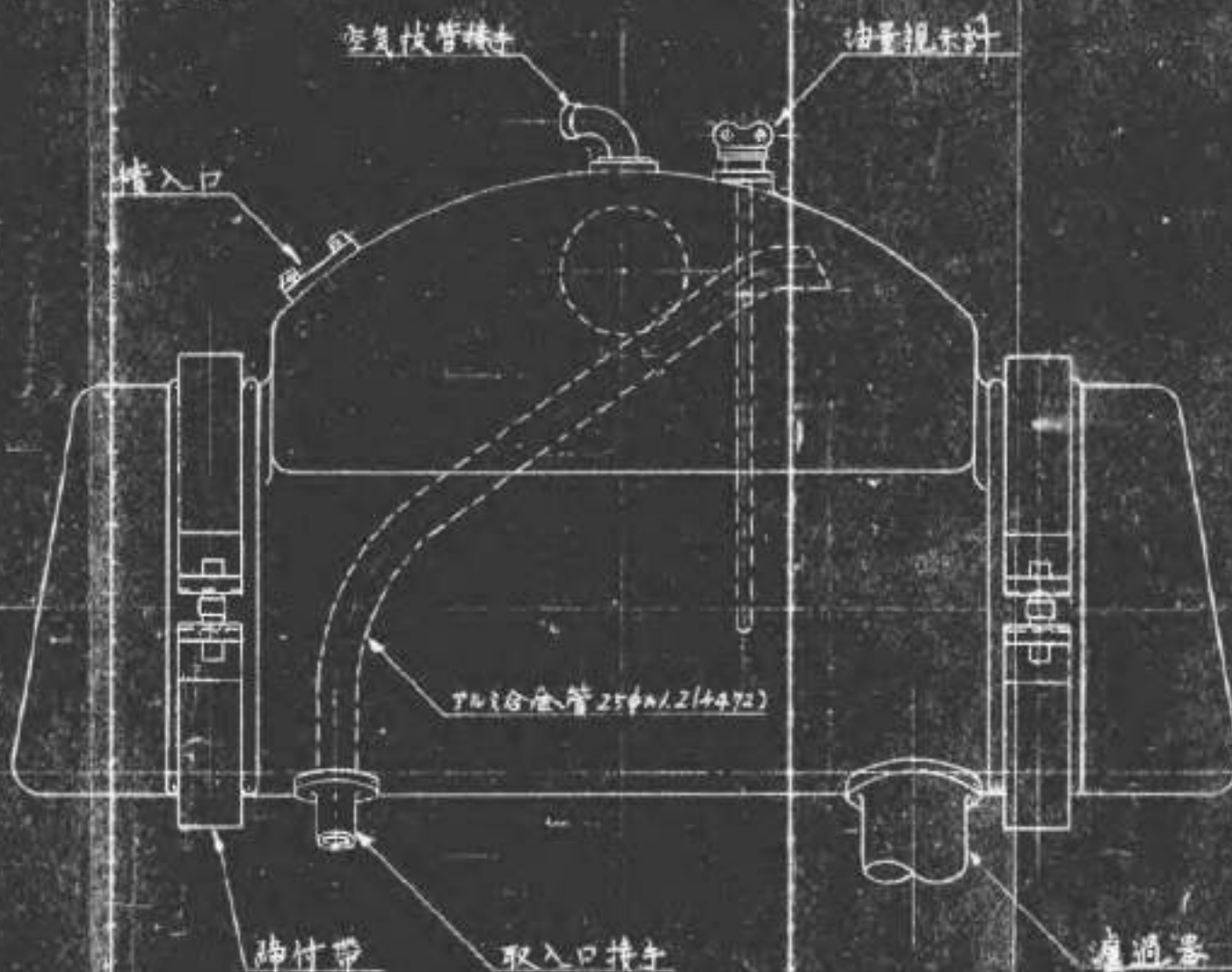
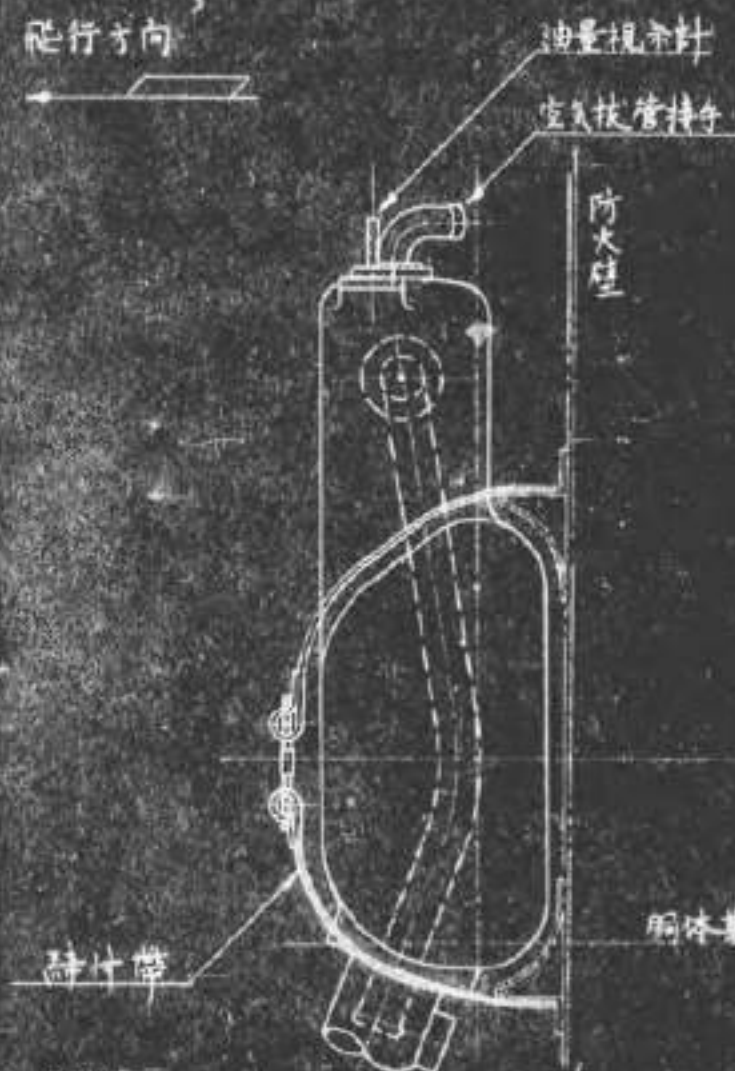




B 潤滑油槽，油冷却器並に潤滑油系統

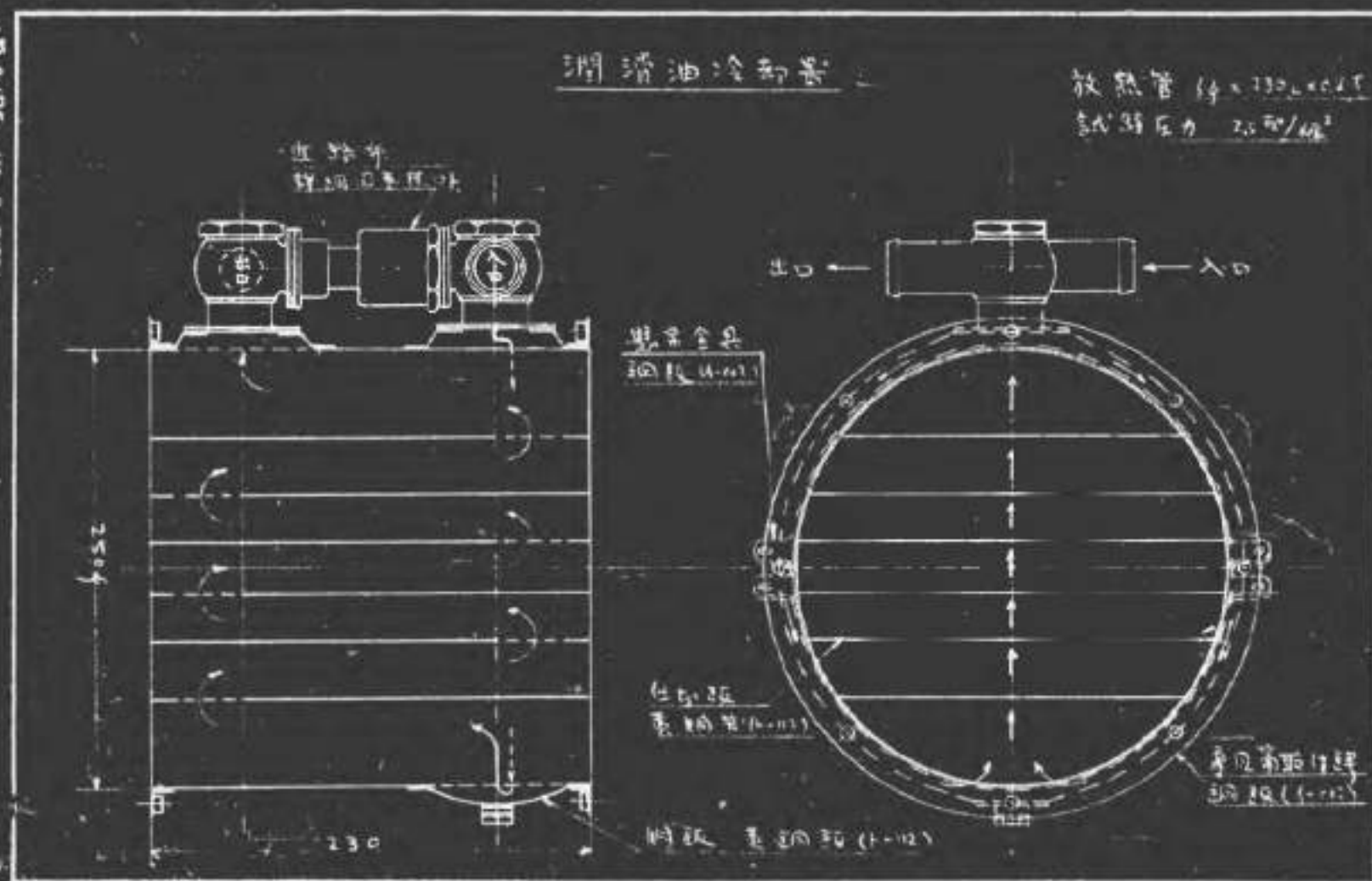
- (1) タンクハアルミニウム製ニシテ防火壁面前ニ取付ナリ。容量ハ58.5L、油量ハ54L、試験圧力ハ0.2MPa。
- (2) 油冷却器ハ次頁ノ図ヲ参照。装備品ハ3.1.9.4.3ニ示サレタリ。
- (3) 潤滑油系統ハ本図ニ参照スベシ。

航行方向
→

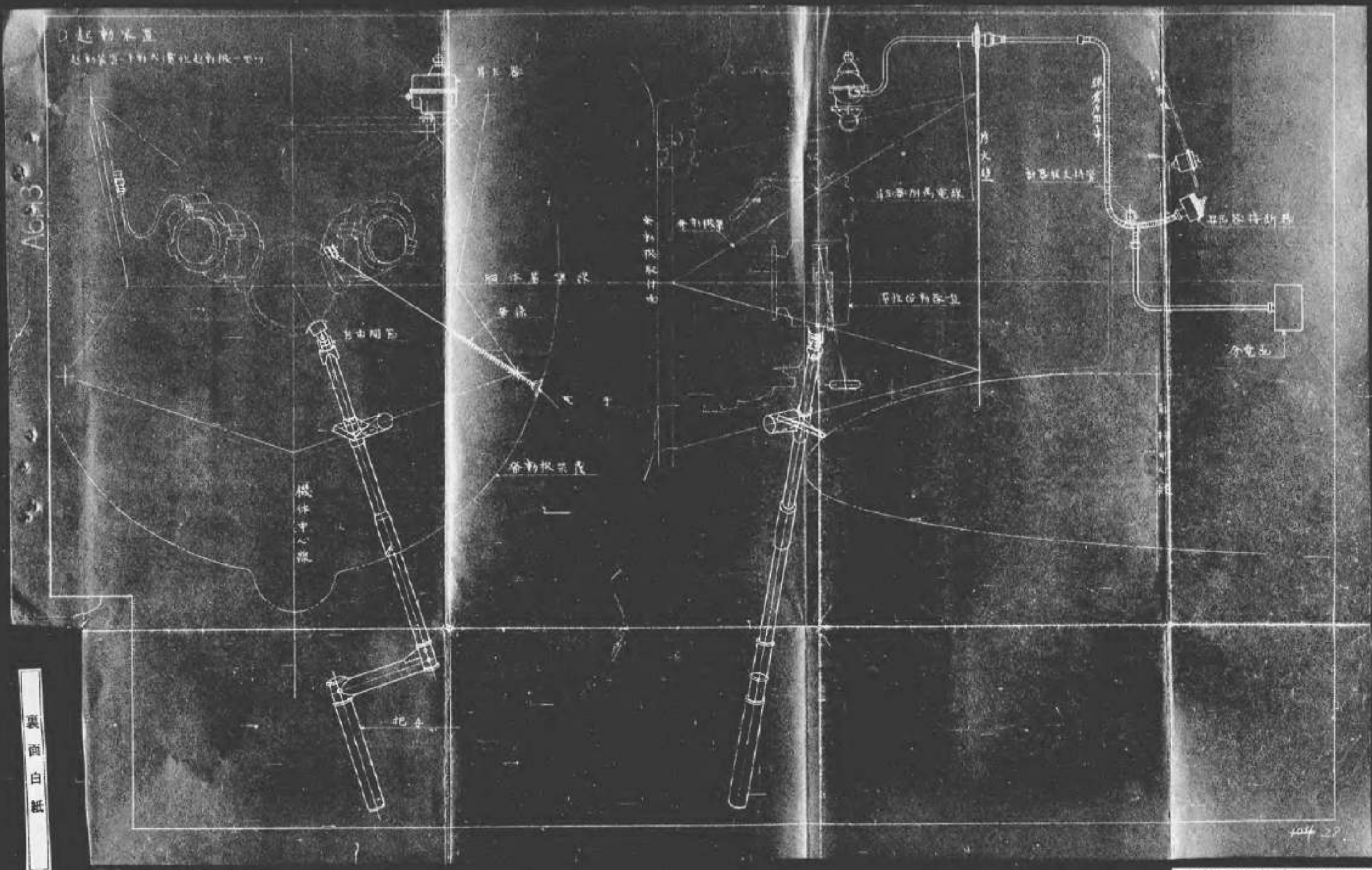




裏面白紙



1 : 3 2



裏面白紙



起動前注油装置 (※34043m)

本装置は起動前・約150回ハ・D・7
回転ス



内火壁

機体中心線

給油口
注油口



操作把手

注油ポンプ
(燃料ポンプ型)

裏面白紙

1 : 25

E. 牽動機、管制装置、及
 F. 高度プロペラ管制装置
 絞合調整切換金^{＝連結金}及^{＝連結金}プロペラ側連管管制把手ハ
 操縦席左側＝アリ。アレンネ及連管^{＝キ}各
 杭桿＝連結ス。
 超過フースト[＝]別手ハ計器板左端＝位シホテン
 索[＝]ヨリ気化器杭桿＝連結ス。
 高度金操作量指示把手ハ操縦席左側＝アリ
 連管[＝]ヨリ杭桿＝連結ス。

絞合高主金、プロペラ側連管、管制装置ハ途中脱脱
 摩擦及遊隙等ハ極力減少セムルハ勿論、連結
 部ノ配栓、検査ヲ断[＝]厳密[＝]シ緊締ナツト、割栓
 等ハ使用法不完全ナルモノ無カランハ把手ト余トノ
 関係操作ヲ常ニ確認シオクベシ。

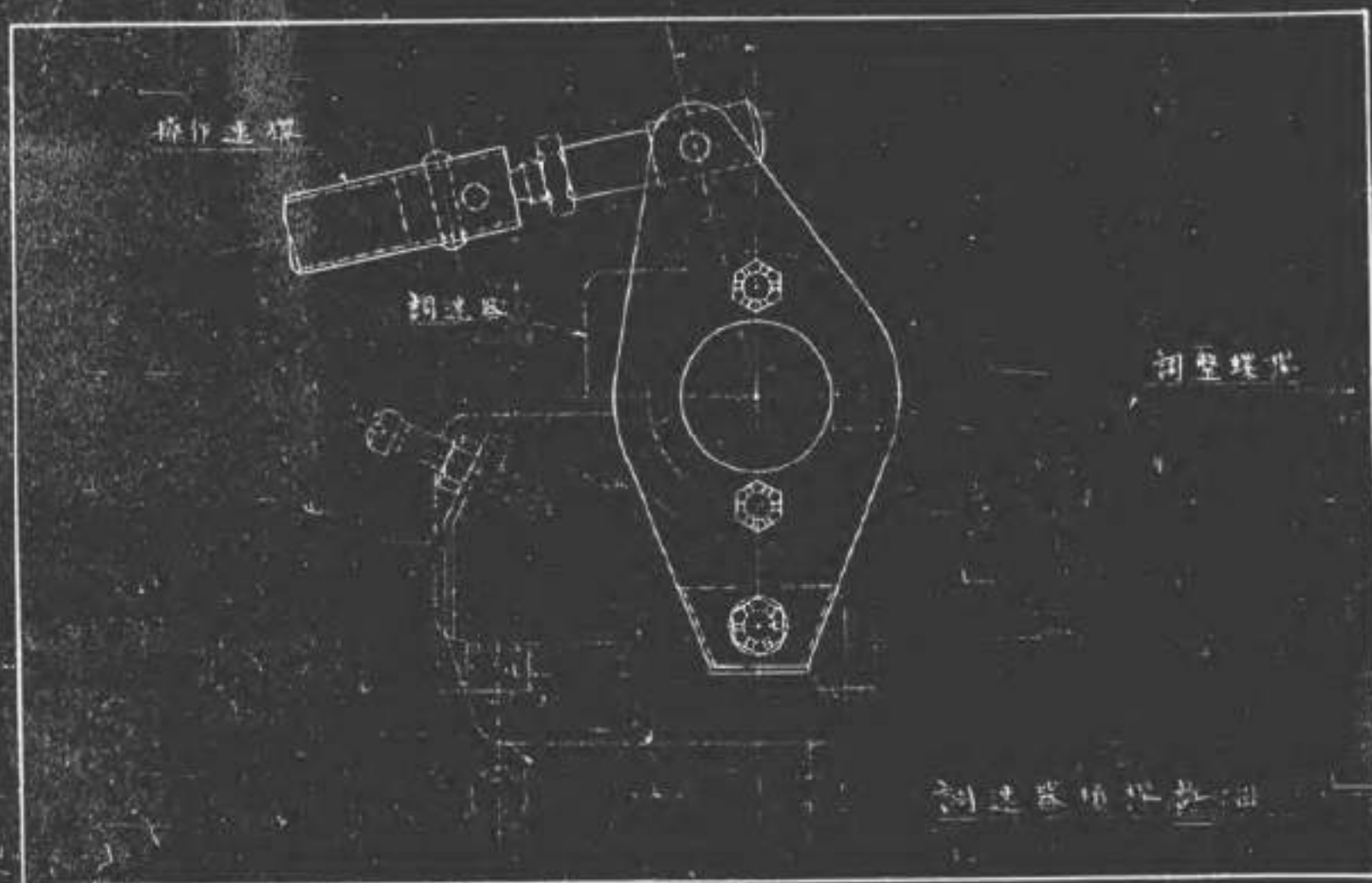
特ニ高度金操作量指示装置ハ次頁図ノP点
 ヲ以テ、操作抵抗カハP点ニ於テ0.5吨以下
 ニシテ作動円滑ナルトヲ確認シオクベシ。

尚高度金操作量指示把手ハ「薄」位置ニ押シ極
 ク余カニ押カテ随メルキ把手ハ円滑ニ「濃」ノ
 位置ニ戻ルコトモ確認シオクベシ。

[illegible]



裏面白紙



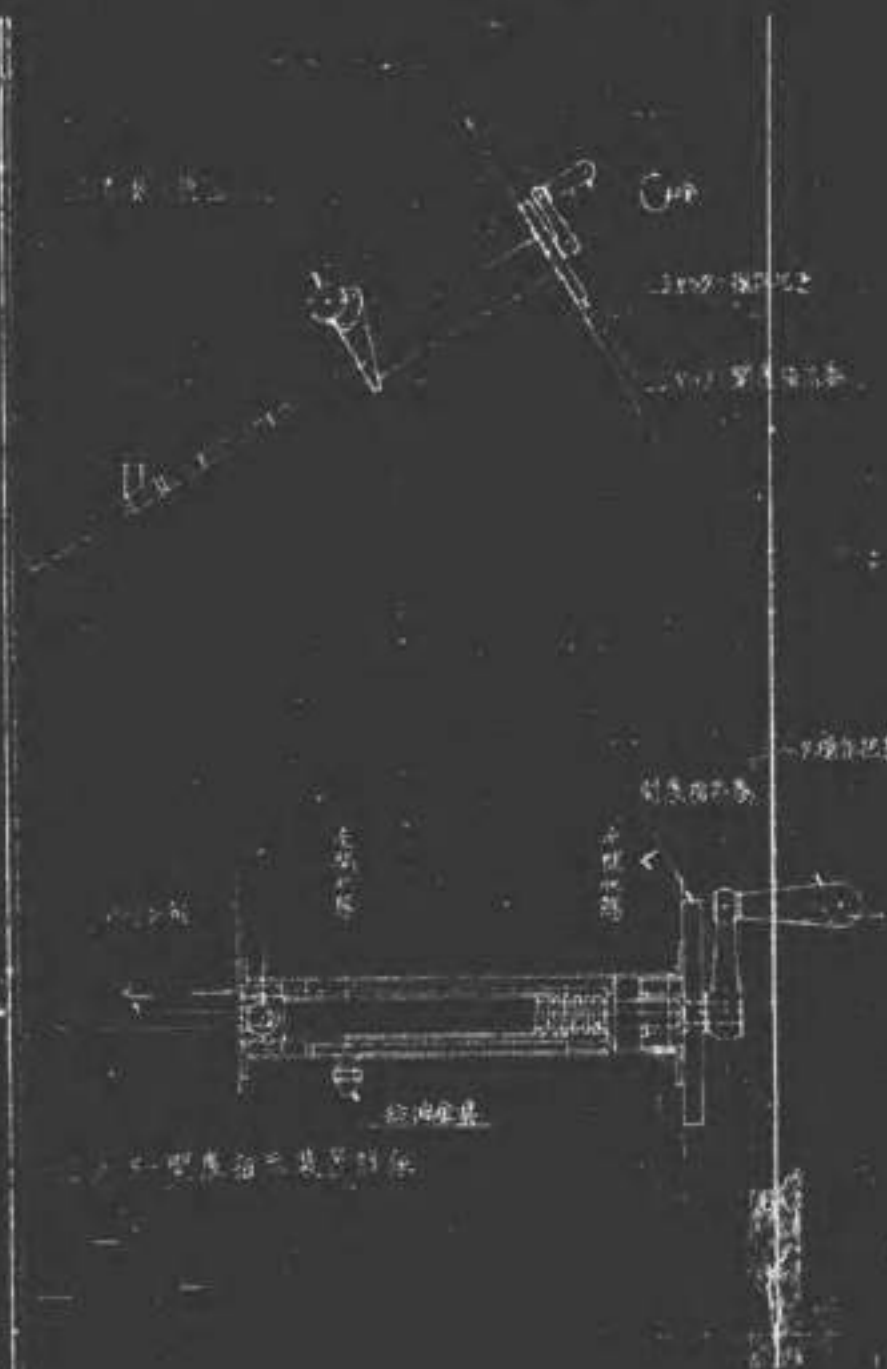
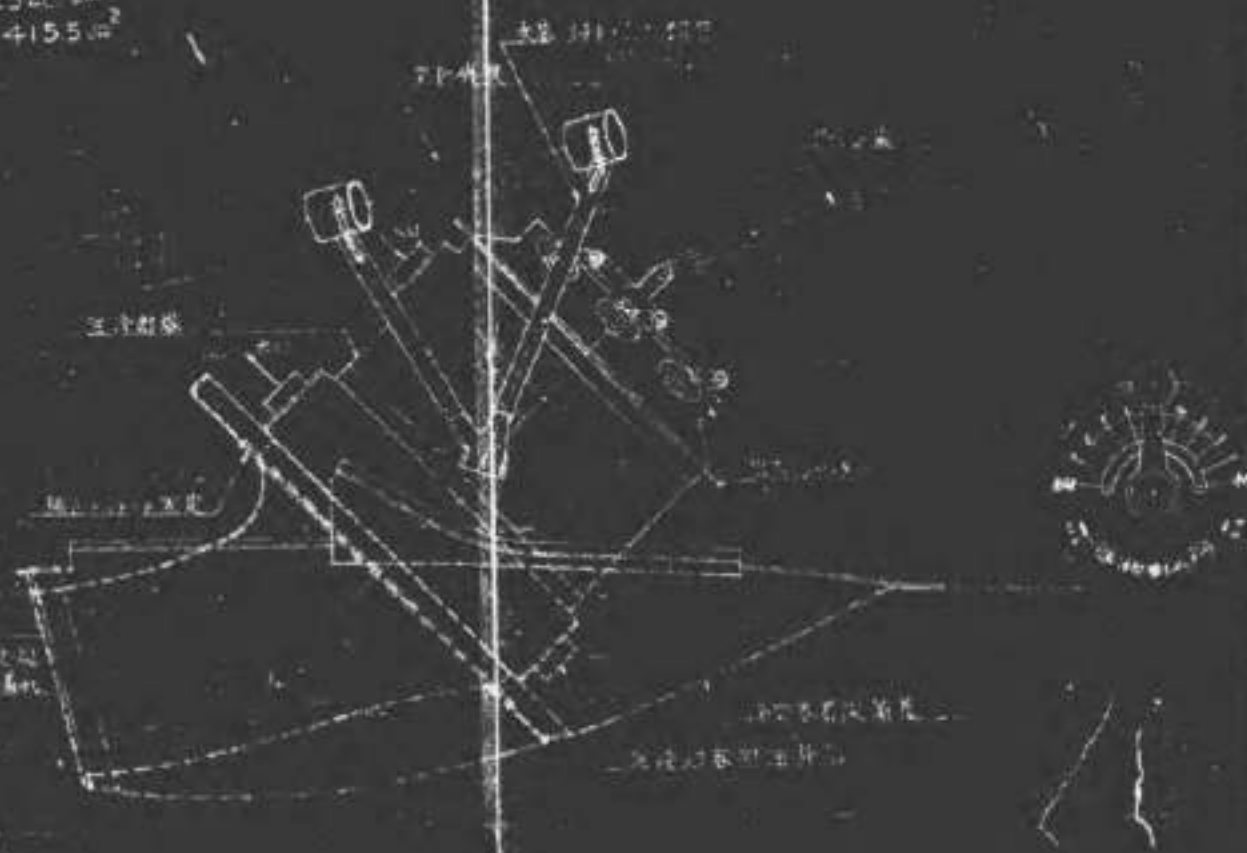
1 : 3 2

m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

G. 油漏 前田町所存

(1) 油漏 前田町所存
 本町に於て 40 丁 2 番 寄 居 方 へ 於 け
 る 油 漏 1 丁 間 隔 へ 於 け 寄 居 方
 迄 油 漏 1 丁 間 隔 へ 寄 居 方
 油 漏 1 丁 間 隔 へ 寄 居 方
 ショー 1 丁 間 隔 へ 寄 居 方
 (右 丁 方 へ 寄 居 方)

油漏 前田町所存 2520 坪
 油漏 前田町所存 4155 坪



需經調整。並務現環境覆核諮詢。

$$1.2 \times 10^4 \times 10^4 = 1.2 \times 10^8$$
$$7 \times 77^{\circ} 45' 42'' = 535^{\circ} - (7 \times (4-2) \times 22') = 535^{\circ}$$

詳細は下図を参照下さい

2. 化整为零入庫

$$X = N_0 + N_1 + \dots + N_{n-1}$$

1994年12月

情懷卷二

洞

原

排印第三

金剛續字源

光動帳環狀莖

河内州志



江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

江戸
町
内
の
地
図

71

2011-10-10 10:30 受信

10:10 10:10 10:10

10:10 10:10 10:10

10:10 10:10 10:10

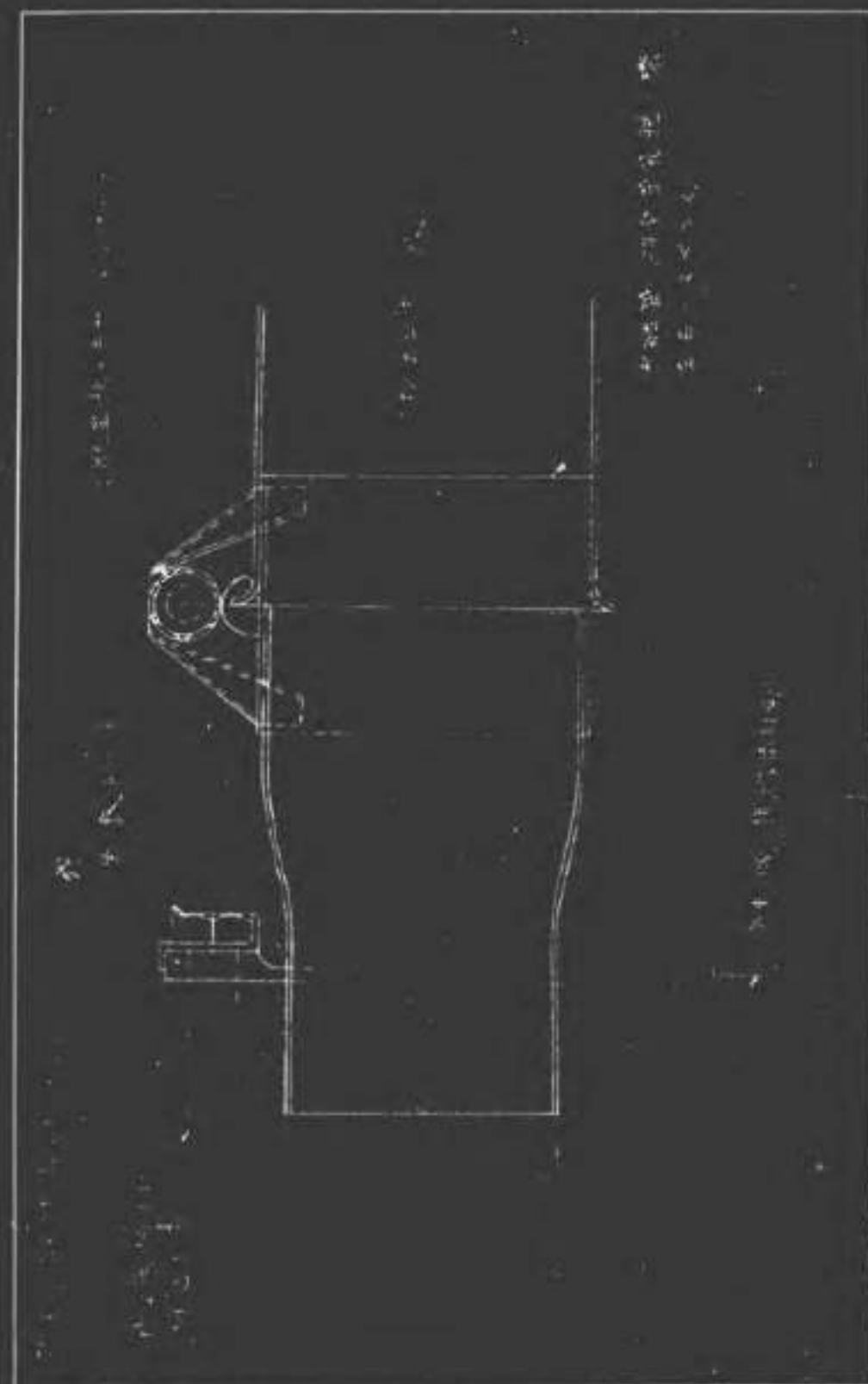
10:10 10:10 10:10

10:10 10:10 10:10

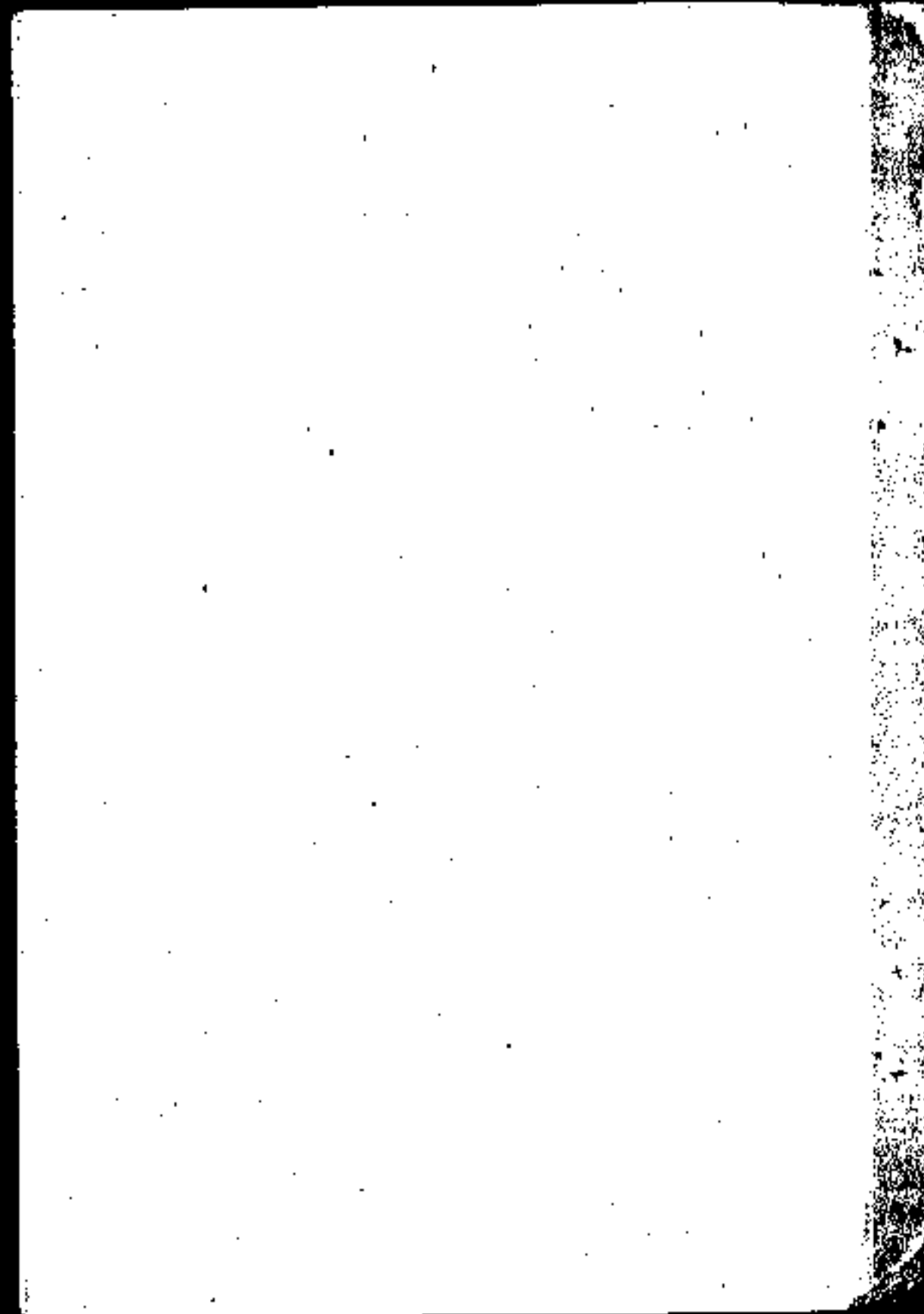
10:10 10:10 10:10

10:10 10:10 10:10

裏面白紙



1 : 2 5





新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

新井 氏

AG-13

1. 発動機振動

発動機振動は前方固定部と後方開閉部とで太
 じられ前方の発動機振動は後方の第0番隔壁に
 下方の油冷却器風筒に接ス。

鉄板45mm厚 (寸2322) 製ナリ。

前方固定部の集合排気管の裏面と上部分とに分レ
 熱風を侵入ヲ防グ。上、中、下ノ三部分に分レ
 中部は発動機振動に堅ク支拂ナレ「フック」ナリ
 操作装置の一部ヲ懸架ス 3.1.9 G. (2) 参照
 スベシ。

上下部の「鉄止ナット」は発動機振動に中部に
 取付ケルハ以テ著明容易且直結發電機
 及油化器等ノ接続ニ便ナリ。

後方開閉部の「鉄止ナット」は他
 ニ便ナシナルヲ「鉄止ナット」及「鉄止ナット」
 ニテ前方固定部の第0番隔壁に取付ケル著明
 容易ナリ。

1 : 3 2



陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

陸奥国

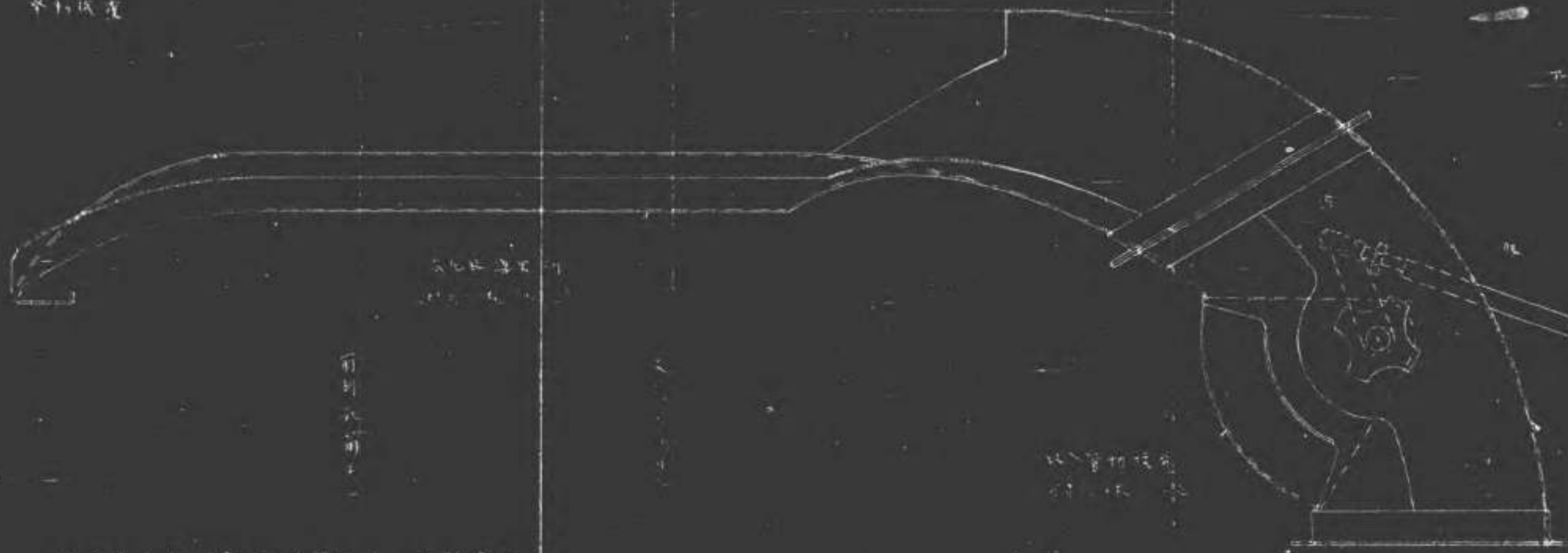
陸奥国

1 : 25



凡 氣化機導 統給・氣化機導 管・吸入機導 調整装置

平均紙産



気化機導 管

平均紙産

気化機導 管

吸入機導 管・吸入機導 管・吸入機導 管
平均紙産・平均紙産・平均紙産
平均紙産・平均紙産・平均紙産

平均紙産・平均紙産
平均紙産・平均紙産
平均紙産・平均紙産





1. 各種紙類、紙類、紙類

2. 各種紙類、紙類、紙類

3. 各種紙類、紙類、紙類

4. 各種紙類、紙類、紙類



5. 各種紙類、紙類、紙類

6. 各種紙類、紙類、紙類



今
時
の
世

裏
面
白
紙

4. 発動機 4.1. 発動機一般要目表
構造 (栄二一型)

型 式		視列星型 14.30.39 固定空冷式
主要寸度	全 長	1.630 米
	直 径	1.150 米
シリンダ	内 径	130 珪
	行 程	150 珪
	全行程容積	229 立
圧縮比		20
回転方向	クランク軸	従つて見れば 右
	プロペラ軸	同 上
減速装置	型 式	遊星歯車式
	減速比	95.33 : 1 (1 3/4)
プロペラ軸	型 式	空基 C ₁ -85
過給器	型 式	二速遠心歯車式
	増速比	ギヤ 6/7 ギヤ 2/4
	翼車直径	305 珪
気化器	型 式	中島=特殊流 100 型
	個 数	1 個
	小管直径個数	20 珪 2 個
燃料ポンプ	型 式	燃料ポンプ 一 型
	個 数	1 個
	主軸回転比	2.9
	回転方向	右
油ポンプ	型 式	二速歯車式 (取付位置は別)
	個 数	注油 1 個 排油 3 個 過給器 1 個
	主軸回転比	67 珪 2.9 77 珪 1.173
	回転方向	右

AGM3

裏面白紙

磁石電機	型 式	種別AVC1K35.5 V5.5 無極切戻付付付付
	個 数	2個
	回転速度	0.875 r.p.m.
	回転方向	左 (機手側から見)
駆動機	型 式	YTH
	個 数	28個
歯大歯庫 (1)内主歯台等位置		F) 2 4 6 1 (3) 5 7 R) (3) 5 7 2 4 6
	歯大歯庫	22度 (計測番号) 凡3
糸開閉角度 (予3番より) 予3番迄厚 1.35mm (計測)	給 入 開	
	給 入 閉	
	排 出 開	
	排 出 閉	
起動装置	型 式	手動慣性起動機一型
	噛合歯手回転方向	左 (機手側から見)
機軸傳動装置	型 式	五式同調装置
	主軸回転比	0.593 : 1 (20000 軸と同シ)
	個 数	2個
回転計傳動機	型 式	
	主軸回転比	
充電用発電機	型 式	充電用発電機一型
	主軸回転比	1.4 : 1
	個 数	1個
	回転方向	左 (機手側から見)
真空ポンプ	型 式	真空ポンプ一型
	個 数	1個
	主軸回転比	0.833 : 1
	回転方向	左 (機手側から見)

AGM3

空気ポンプ	型 式	海軍制式
	個 数	1個
	主軸回転比	0.5 : 1
	回転方向	右 (接手側より見る)
高圧油ポンプ	型 式	高圧油ポンプ型
	個 数	1個
	主軸回転比	0.9 : 1
	回転方向	左 (接手側より見る)
プロペラ調速器	型 式	海軍制式
	個 数	1個
	主軸回転比	0.972 : 1
	回転方向	左 (接手側より見る)

注意

本機各項目の性能(次頁)は非公試の数値を示す。
 正の数値は、本機製作所より発表されたもの。
 見直し(当所より未だ正の数値が入りていない)

裏面白紙

性能(栄ニ一型)

工 目		常用最大	公 称	融 昇	
給入圧力 (水銀柱)		+75托	+200托	+300托	
回 転 数	フランク軸 (毎分)	2520	2700	最大 2750 最小	
	プロペラ軸 (毎分)	1470	1575	最大 1605 最小	
公 称 高 度		ネー 2850 米 ネー 6000 米			
出 力	地 上 馬 力		820	1100	1130
	放 公 称 高 度	馬 力	)	1400	
		立 馬 力		39.4	
		馬力当り重量		0.536托	
		平均有効圧力		132托/種 ²	
		トルク		500型米	
燃 料	標 準 燃 料		航空92標準油		
	比 重		0.72		
	圧 力 (放常用運転)		0.3 ~ 0.35 托/種 ²		
	量 量 (毎時)	標準	立	295 260	420 300
經濟		出力	常用 最大	7/10 210	5/10 205
潤 滑 油	標 準 潤 滑 油		航空金鉱油		
	比 重		0.89		
	潤滑量	放 公 称 運 転	毎時	立	毎時毎馬力 瓦
		放 回 転	毎時	立	毎時毎馬力 瓦
	圧 力 (放常用運転)		6托/種 ² 潤滑量 12托/種 ²		
	循環量 (放 公 称 運 転)				
	放熱量 ()				
	出入口温度差 ()				

裏面白紙

A6M3

使用限度(要一型)

項 目	記 註 事 項			
給入圧力	公 称	+200 托	分間	
	離 昇	+300 托	分間	
回 転 数	公 称	2700		
	離 昇	2750		
	超高速			
シリンダ温度	許容最高	度		
	30分間使用	度		
	長時間使用	度		
	許容最低	度		
燃 圧	最 高	kg/cm ²	最 低	kg/cm ²
油 圧	最 高	kg/cm ²	最 低	kg/cm ²
入 口 温 度	許容最高	度		
	30分間使用	度		
	長時間使用	度		
	許容最低	度		

裏面白紙

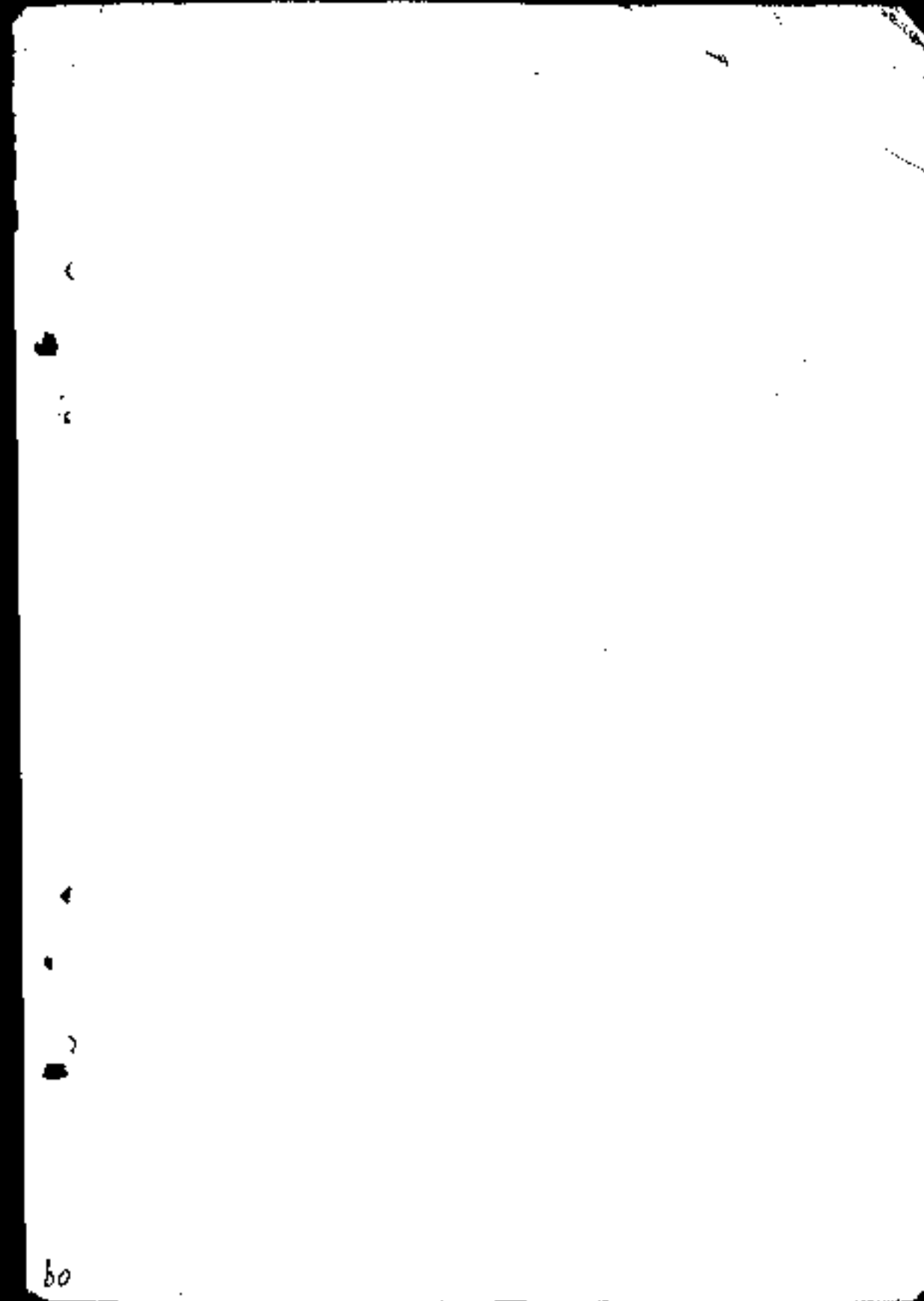
AGM3

重要部品 (第1号)

發動機用油 (潤滑油) (内訳) 単位 升	燃料機用油 (潤滑油) (内訳) 単位 升
燃料機用油	燃料機用油
高圧電線	高圧電線
火花栓	火花栓
気化器	気化器
燃料ポンプ	燃料ポンプ
機械油	機械油
	プロペラ潤滑油
	燃料機内潤滑油
	空気取入口
	排気管

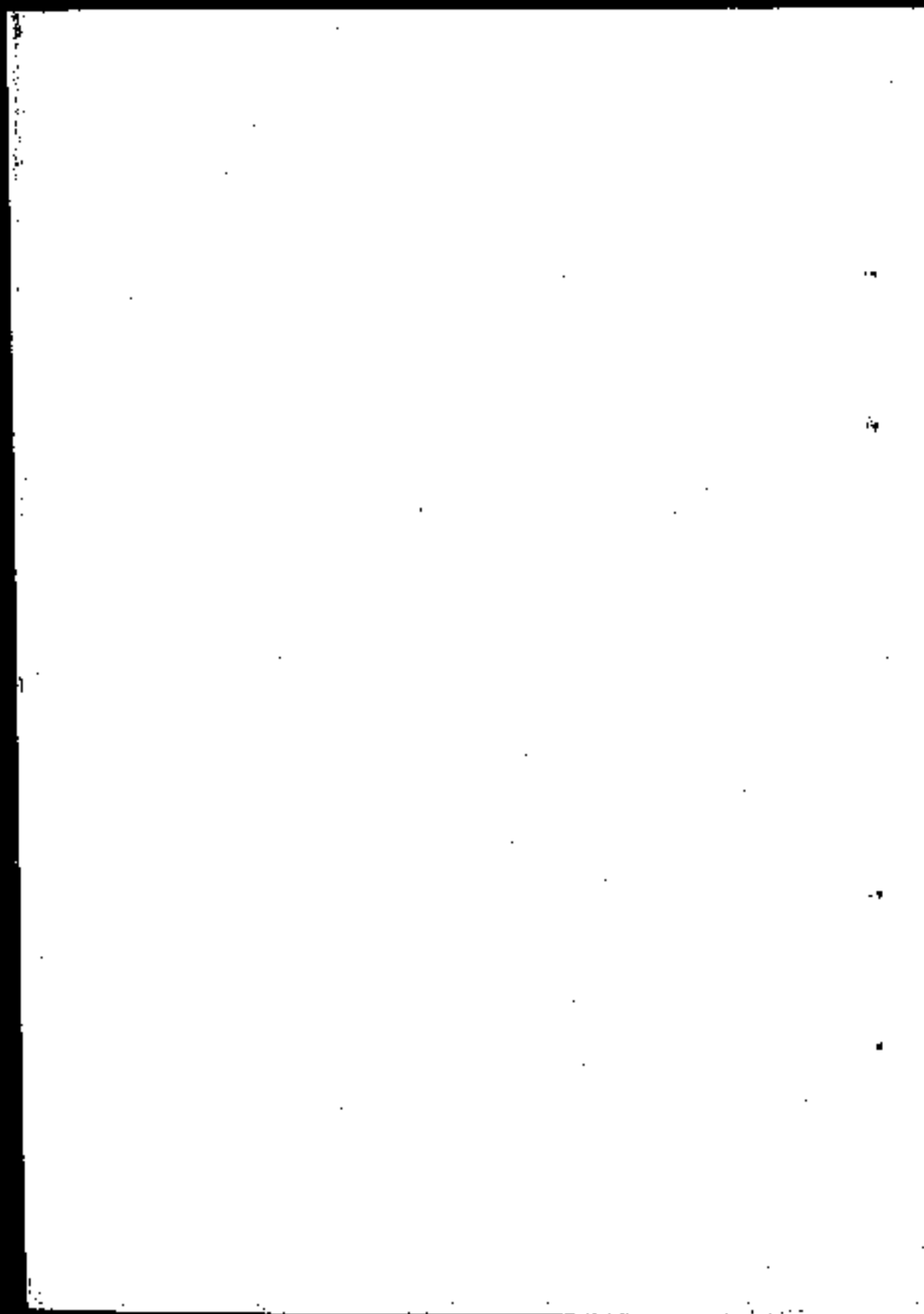
燃料機用油 (使用状態、プロペラ及ボス等除) 燃料機用油 (使用状態、プロペラ及ボス等除) 燃料機用油 (使用状態、プロペラ及ボス等除)

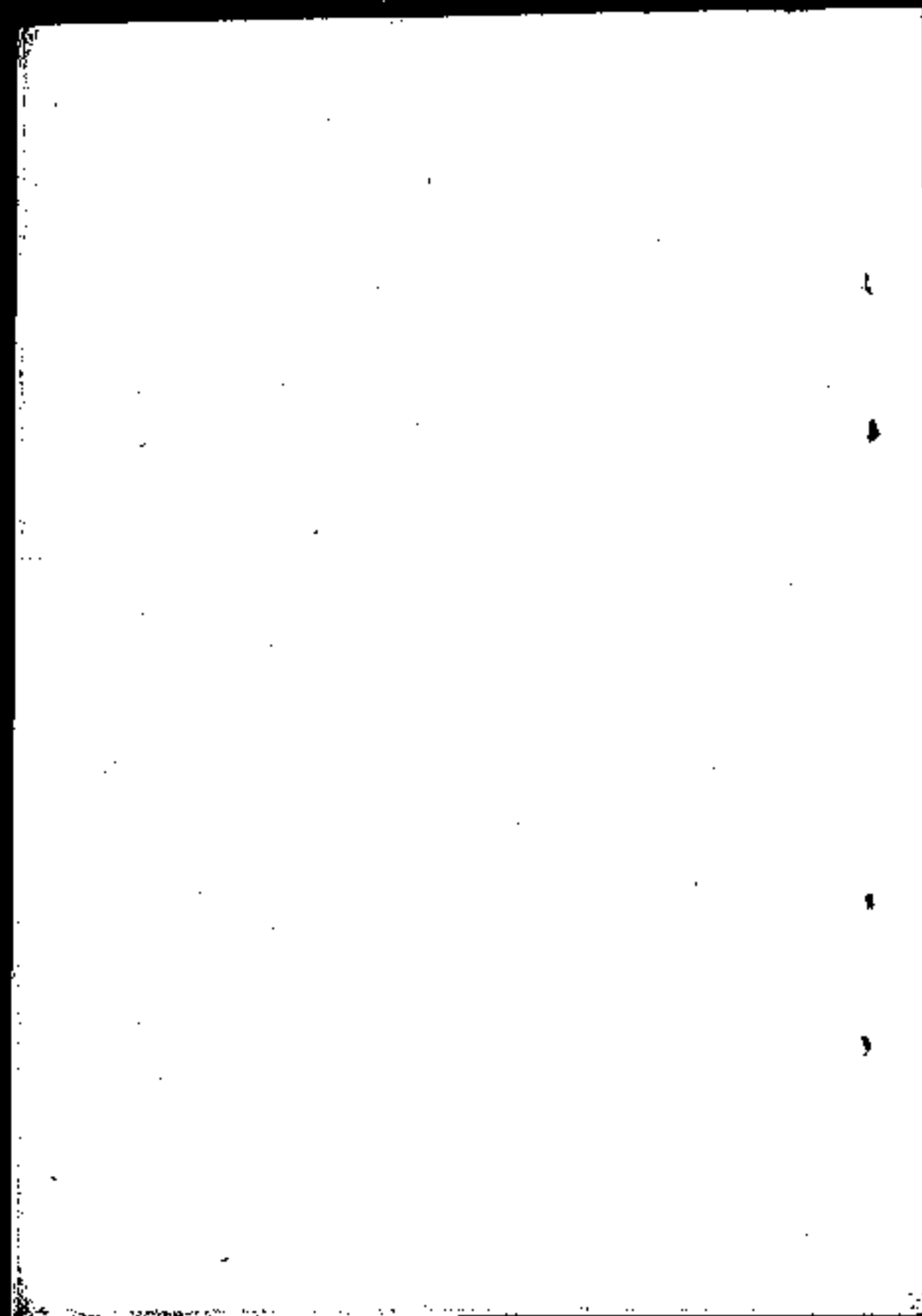
裏面白紙



60







1 2 3 4 5 6 7 8 9

国立公文書館	
分類	⑩ ⑪
配架番号	3 A
	14
	68-1

国立公文書館	
分類	
配架番号	68-1

めく
れ
ず

国史公文書館
分類
記号
68-1

機構説明書
文科省
伊勢

十部内席
號

表紙
表紙

C
R

めくれず

Red - leaf
Green - Kian
Black - Day Day

本書配付先				
番號	配付先	番號	配付先	
一		六		
二		七		
三		八		
四		九		
五		一〇		神宮寺源水齋

目次

第一章	内装
第二章	内装
第三章	内装
第四章	内装
第五章	内装
第六章	内装
第七章	内装
第八章	内装
第九章	内装
第十章	内装
第十一章	内装
第十二章	内装
第十三章	内装
第十四章	内装
第十五章	内装
第十六章	内装
第十七章	内装
第十八章	内装
第十九章	内装
第二十章	内装
第二十一章	内装
第二十二章	内装
第二十三章	内装
第二十四章	内装
第二十五章	内装
第二十六章	内装
第二十七章	内装
第二十八章	内装
第二十九章	内装
第三十章	内装
第三十一章	内装
第三十二章	内装
第三十三章	内装
第三十四章	内装
第三十五章	内装
第三十六章	内装
第三十七章	内装
第三十八章	内装
第三十九章	内装
第四十章	内装
第四十一章	内装
第四十二章	内装
第四十三章	内装
第四十四章	内装
第四十五章	内装
第四十六章	内装
第四十七章	内装
第四十八章	内装
第四十九章	内装
第五十章	内装
第五十一章	内装
第五十二章	内装
第五十三章	内装
第五十四章	内装
第五十五章	内装
第五十六章	内装
第五十七章	内装
第五十八章	内装
第五十九章	内装
第六十章	内装
第六十一章	内装
第六十二章	内装
第六十三章	内装
第六十四章	内装
第六十五章	内装
第六十六章	内装
第六十七章	内装
第六十八章	内装
第六十九章	内装
第七十章	内装
第七十一章	内装
第七十二章	内装
第七十三章	内装
第七十四章	内装
第七十五章	内装
第七十六章	内装
第七十七章	内装
第七十八章	内装
第七十九章	内装
第八十章	内装
第八十一章	内装
第八十二章	内装
第八十三章	内装
第八十四章	内装
第八十五章	内装
第八十六章	内装
第八十七章	内装
第八十八章	内装
第八十九章	内装
第九十章	内装
第九十一章	内装
第九十二章	内装
第九十三章	内装
第九十四章	内装
第九十五章	内装
第九十六章	内装
第九十七章	内装
第九十八章	内装
第九十九章	内装
第一百章	内装